2021 年 3 月 26 日

各　　位

株式会社　みなと銀行

「兵庫県内中小企業の景況調査（2021 年 1 月～3 月期）」の実施結果について

関西みらいフィナンシャルグループのみなと銀行（頭取 服部 博明）は、兵庫県内のお取引先中小企業のご協力を得て、県内中小企業の景況調査（2021 年 1 月～3 月期）を実施しましたので、その調査結果をお知らせします。

本調査は、みなと銀行の県下全域にわたる支店ネットワークを活用し、地元中小企業の皆さまが実際に肌で感じておられる景況感などを幅広く把握し、地域金融機関としてお役に立つ情報を発信していくことを目指して、2010 年 11 月より実施しているものです。

今後についても、四半期毎に実施し、地域の皆さまのご意見、ご判断をより反映した調査となるよう努めてまいります。

■景況調査の概要

実施時期	2021 年 2 月
調査対象	兵庫県内に本社を置くみなと銀行のお取引先中小企業 対象先：1,799 先、うち有効回答：1,310 先 （有効回答率　72.8%）
質問事項	景況感、売上、経常利益などに関する判断ＤＩ 新型コロナウイルスの影響について等

調査結果の概要と詳細は、別紙の通りです。ご参照下さい。

以　上

兵庫県内中小企業の景況調査
（2021年1月～3月期）

調査方法等
・調査時点　2021年2月
・調査対象　兵庫県内に本社を置くみなと銀行の取引先企業
・調査方法　聞き取りによるアンケート調査
・依頼先数　1799社
・有効回答数　1310社（有効回答率72・8％）

調査集計・分析　みなと銀行 ひょうご経済研究所

【業種】		社数	構成比(%)
製造業		356	27.2
非製造業	建設業	208	15.9
	卸売業	190	14.5
	小売業	83	6.3
	不動産業	163	12.4
	運輸業	66	5.0
	宿泊・飲食業	26	2.0
	医療・福祉	49	3.7
	サービス業	111	8.5
	その他	57	4.4
非製造業		953	72.7
無回答		1	0.1
合　計		1,310	100.0

【従業員数】		社数	構成比(%)
小規模企業	5名以下	141	10.8
	6～10名	149	11.4
	小計	290	22.1
中小企業	11～20名	231	17.6
	21～50名	379	28.9
	51～100名	195	14.9
	小計	805	61.5
中堅企業	101～200名	114	8.7
	201名以上	97	7.4
	小計	211	16.1
無回答		4	0.3
合　計		1,310	100.0

※ DI（Diffusion　Index）
景況判断DI ＝「良い」と回答した企業の割合
－「悪い」と回答した企業の割合

［調査結果］

・景況判断は、製造業の改善が寄与して3四半期連続で改善した。新型コロナウイルスの感染再拡大で2度目の緊急事態宣言が発令されたこともあり、改善幅は1・1ポイントと前期（13・8ポイント）と比べ小幅にとどまった。
・新型コロナウイルスの影響は、今後の可能性を含めて「影響あり」が83・3％であり、前期（85・3％）と同様8割を超える。ただし、昨年12月の売上水準（対前年同月比）は、「横ばい」を含めて「増加」が63・6％となり、9月比3・8ポイント増え、改善のきざしが見える。
・このような中、20年度に採用活動を行った企業は前年度比減少したが、21年度は2ポイント増加を見込む。
・景況判断の今後の見通しは、感染拡大を防ぎつつ経済活動を進めるのは難しいことから、小幅改善の▲32・9と慎重にみている。

1　景況判断
改善したが、「悪い」と判断する企業が多い

『全産業』は1・1ポイント改善の▲34・9と3四半期連続で改善したが、改善幅は小さい。
『製造業』は全体で8・4ポイント改善の▲37・9となったが、7四半期連続のマイナス判断となっており、依然厳しい。
『非製造業』は全体で1・9ポイント悪化の▲33・8とこちらも7四半期連続のマイナス判断。
地域別では、神戸、播磨、但馬・丹波地域は改善し、阪神、淡路地域は悪化した。
先行きは『製造業』は4・5ポイント、『非製造業』は1・1ポイントの改善を予想している。

2　売上高判断
製造業、非製造業ともに改善

『全産業』は4・9ポイント改善の▲28・9となった。
『製造業』は、▲28・2と15・8ポイント改善した。
『非製造業』は▲29・2と0・6ポイント改善した。
業種別は宿泊・飲食業、小売業、不動産業、サービス業が悪化し、これら以外の業種は改善した。
宿泊・飲食業、小売業の悪化幅が大きかった。
地域別は4地域（神戸、阪神、播磨、淡路）は改善し、但馬・丹波地域は悪化した。
先行きは『製造業』、『非製造業』ともに改善を予想している。

3　経常利益判断
製造業は改善、非製造業は悪化

『全産業』では1・6ポイントの改善の▲26・1となった。『製造業』は改善、『非製造業』は悪化した。
業種別は製造業、建設業、卸売業、運輸業、その他が改善し、これら以外の業種は悪化した。
地域別は、神戸、但馬・丹波地域は改善したが、阪神、播磨、淡路地域で悪化した。
先行きは、『製造業』、『非製造業』ともに改善の予想で、全体では2・2ポイントの改善を見込む。

項　目	1. 景況判断「良い」－「悪い」			2. 売上高判断「増加」－「減少」			（販売数量）「増加」－「減少」		（販売単価）「上昇」－「低下」		3. 経常利益判断「増加」－「減少」		
	[前回] 2020年10～12月	[今回] 2021年1～3月	[見通し] 2021年4～6月	[前回] 2020年10～12月	[今回] 2021年1～3月	[見通し] 2021年4～6月	[前回] 2020年10～12月	[今回] 2021年1～3月	[前回] 2020年10～12月	[今回] 2021年1～3月	[前回] 2020年10～12月	[今回] 2021年1～3月	[見通し] 2021年4～6月
全産業	▲ 36.0	▲ 34.9	▲ 32.9	▲ 33.8	▲ 28.9	▲ 25.0	▲ 32.6	▲ 29.1	▲ 9.7	▲ 9.7	▲ 27.7	▲ 26.1	▲ 23.9
小規模企業	▲ 33.0	▲ 31.7	▲ 29.3	▲ 26.7	▲ 27.6	▲ 21.0	▲ 26.5	▲ 25.5	▲ 8.8	▲ 4.8	▲ 19.8	▲ 26.6	▲ 20.8
中小企業	▲ 37.3	▲ 35.9	▲ 33.7	▲ 37.7	▲ 30.4	▲ 25.9	▲ 36.2	▲ 30.5	▲ 11.3	▲ 11.1	▲ 31.7	▲ 26.8	▲ 24.7
中堅企業	▲ 34.5	▲ 35.1	▲ 33.6	▲ 27.3	▲ 24.3	▲ 27.1	▲ 26.2	▲ 27.0	▲ 4.7	▲ 10.8	▲ 21.8	▲ 22.5	▲ 24.4
製造業	▲ 46.3	▲ 37.9	▲ 33.4	▲ 44.0	▲ 28.2	▲ 22.3	▲ 43.1	▲ 27.4	▲ 10.3	▲ 8.8	▲ 36.9	▲ 23.9	▲ 19.4
小規模企業	▲ 60.9	▲ 38.9	▲ 38.9	▲ 52.2	▲ 16.7	▲ 11.1	▲ 47.8	▲ 16.7	4.3	▲ 5.6	▲ 30.4	▲ 16.7	▲ 22.2
中小企業	▲ 46.6	▲ 40.9	▲ 34.4	▲ 46.6	▲ 33.6	▲ 25.1	▲ 45.7	▲ 31.0	▲ 13.6	▲ 10.9	▲ 41.0	▲ 28.6	▲ 21.2
中堅企業	▲ 40.8	▲ 28.2	▲ 28.2	▲ 31.6	▲ 14.3	▲ 16.9	▲ 32.0	▲ 16.9	▲ 2.7	▲ 3.9	▲ 23.7	▲ 11.7	▲ 14.3
非製造業	▲ 31.9	▲ 33.8	▲ 32.7	▲ 29.8	▲ 29.2	▲ 26.1	▲ 28.3	▲ 29.7	▲ 9.4	▲ 10.1	▲ 24.0	▲ 26.9	▲ 25.6
小規模企業	▲ 30.4	▲ 31.4	▲ 28.8	▲ 24.4	▲ 28.4	▲ 21.8	▲ 24.5	▲ 26.3	▲ 10.1	▲ 4.7	▲ 18.8	▲ 27.3	▲ 20.7
中小企業	▲ 32.7	▲ 33.5	▲ 33.5	▲ 33.2	▲ 28.9	▲ 26.3	▲ 31.3	▲ 30.2	▲ 10.1	▲ 11.2	▲ 27.0	▲ 25.9	▲ 26.4
中堅企業	▲ 31.3	▲ 39.1	▲ 36.8	▲ 25.0	▲ 30.1	▲ 33.1	▲ 23.0	▲ 33.1	▲ 5.8	▲ 15.1	▲ 20.8	▲ 28.8	▲ 30.3

4 仕入価格判断
製造業は低下、非製造業は上昇

『全産業』の判断は▲3・2と1・1ポイント上昇した。

『製造業』は、小規模、中堅企業が低下し、全体では0・3ポイント低下した。『非製造業』は、企業規模にかかわらず上昇し、全体では1・8ポイント上昇した。

業種別では製造業、卸売業、小売業、宿泊・飲食業が低下し、これら以外の業種は上昇した。建設業、不動産業、医療・福祉がプラス判断となった。

5 生産判断（製造業のみ）
2四半期連続の上昇

製造業全体の判断は15・5ポイント上昇の▲17・4と2四半期連続で上昇したが、32・4％の企業は減少と回答。

小規模企業が27・9ポイント、中小企業が11・0ポイント、中堅企業が26・8ポイント上昇した。

6 在庫判断
過剰感がやや弱まる

「適正」の判断が大半（93・5％）を占めるが、『全産業』では▲2・9から▲2・1となり、過剰感がやや弱まった。業種別では卸売業が適正、製造業、小売業が過剰、建設業、不動産業が不足となった。

7 資金繰り判断
2四半期連続のプラス判断

全産業の判断は、横ばいの0・8と2四半期連続のプラス判断となった。

『製造業』では、中堅企業は悪化したが、小規模、中小企業が改善し、全体では3・2ポイント改善した。『非製造業』は、中小・中堅企業が悪化し、全体では1・1ポイント悪化した。

項目	4. 仕入価格判断			5. 生産（製造業のみ）			6. 在庫判断			7. 資金繰り判断			8. 雇用判断			9. 設備投資判断		
	［前回］2020年10～12月	［今回］2021年1～3月	［見通し］2021年4～6月	［前回］2020年10～12月	［今回］2021年1～3月	［見通し］2021年4～6月	［前回］2020年10～12月	［今回］2021年1～3月	［見通し］2021年4～6月	［前回］2020年10～12月	［今回］2021年1～3月	［見通し］2021年4～6月	［前回］2020年10～12月	［今回］2021年1～3月	［見通し］2021年4～6月	［前回］2020年10～12月	［今回］2021年1～3月	［見通し］2021年4～6月
	「上昇」－「低下」			「増加」－「減少」			「不足」－「過剰」			「楽である」－「苦しい」			「不足」－「過剰」			「増加」－「減少」		
全産業	▲ 4.3	▲ 3.2	▲ 2.1	—	—	—	▲ 2.9	▲ 2.1	▲ 1.2	0.8	0.8	▲ 0.6	7.3	5.7	5.9	▲ 5.0	▲ 3.6	▲ 2.1
小規模企業	▲ 1.5	1.8	2.2	—	—	—	▲ 1.2	▲ 1.5	0.4	▲ 2.6	▲ 1.0	▲ 1.4	4.0	6.6	6.2	▲ 5.3	▲ 6.8	▲ 5.4
中小企業	▲ 5.3	▲ 4.9	▲ 3.5	—	—	—	▲ 4.1	▲ 2.9	▲ 2.0	0.8	1.5	▲ 0.4	8.7	5.5	5.9	▲ 5.0	▲ 4.0	▲ 2.9
中堅企業	▲ 3.7	▲ 3.9	▲ 2.5	—	—	—	▲ 0.5	0.5	▲ 0.5	5.0	1.4	0.5	5.9	5.2	5.7	▲ 4.6	2.4	5.2
製造業	▲ 4.5	▲ 4.8	▲ 2.5	▲ 32.9	▲ 17.4	▲ 15.0	▲ 3.4	▲ 5.6	▲ 4.8	1.6	4.8	2.5	3.9	1.4	2.8	▲ 7.9	▲ 4.2	▲ 0.3
小規模企業	8.7	0.0	11.1	▲ 45.5	▲ 17.6	▲ 17.6	▲ 4.3	▲ 5.6	▲ 5.6	▲ 4.3	0.0	5.6	8.7	0.0	5.6	▲ 13.0	▲ 5.6	▲ 11.1
中小企業	▲ 5.7	▲ 5.0	▲ 4.2	▲ 33.1	▲ 22.1	▲ 18.5	▲ 4.9	▲ 7.3	▲ 5.4	▲ 0.4	5.0	0.8	3.5	1.2	3.1	▲ 7.8	▲ 5.4	▲ 1.5
中堅企業	▲ 3.9	▲ 6.5	0.0	▲ 28.2	▲ 1.4	▲ 4.1	2.6	0.0	▲ 2.6	10.5	5.2	7.8	3.9	2.6	1.3	▲ 6.6	0.0	6.4
非製造業	▲ 4.3	▲ 2.5	▲ 1.9	—	—	—	▲ 2.7	▲ 0.6	0.2	0.5	▲ 0.6	▲ 1.8	8.6	7.3	7.0	▲ 3.8	▲ 3.3	▲ 2.8
小規模企業	▲ 2.5	2.0	1.6	—	—	—	▲ 0.9	▲ 1.2	0.8	▲ 2.4	▲ 1.1	▲ 1.8	3.6	7.0	6.3	▲ 4.6	▲ 6.9	▲ 5.0
中小企業	▲ 5.1	▲ 4.8	▲ 3.1	—	—	—	▲ 3.6	▲ 0.6	▲ 0.2	1.4	▲ 0.2	▲ 0.9	11.3	7.6	7.2	▲ 3.6	▲ 3.4	▲ 3.5
中堅企業	▲ 3.5	▲ 2.4	▲ 3.9	—	—	—	▲ 2.2	0.8	0.8	2.1	▲ 0.8	▲ 3.8	6.9	6.8	8.3	▲ 3.5	3.8	4.5

8 雇用判断
不足感はやや弱まる

『全産業』では1・6ポイント低下し、5・7と不足感はやや弱まった。業種別では宿泊・飲食業、卸売業で過剰の状態となった。

9 設備投資判断
4四半期連続のマイナス判断

『全産業』では▲3・6と1・4ポイント上昇となるも、4四半期連続のマイナス判断となった。小規模企業は低下し、中小、中堅企業が上昇した。

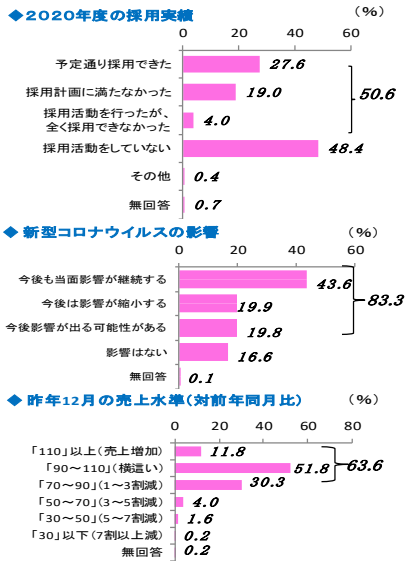
◆ 採用実績

2020年度に採用活動を行った企業は50・6％で、昨年度比9・2ポイント減少した。21年度は52・6％が採用を計画している。

◆ 新型コロナウイルスの影響

今後の可能性を含めて「影響あり」が83・3％と前期（85・3％）と同様8割強の水準だった。

昨年12月の売上水準（前年同月比）は、「横這い」を含めて「増加」が63・6％となり、9月比3・8ポイント改善した。



2021 年 3 月 26 日
株式会社　みなと銀行

兵庫県内中小企業の景況調査

（2021 年 1 月～3 月期）

〔目　　次〕

Ⅰ．調査方法等……１

Ⅱ．調査結果の概要……２

Ⅲ．個別項目の動向
１．景況判断……３
２．売上高判断……５
３．経常利益判断……６
４．仕入価格判断……７
５．生産判断（製造業のみ）……８
６．在庫判断……９
７．資金繰り判断……１０
８．雇用判断……１１
９．設備投資判断……１２
◆　採用動向について……１３
◆　新型コロナウイルスの影響について……１５

Ⅳ．【参考】　景況判断の内訳明細……２１

本調査に関する問い合わせ先
みなと銀行　経営企画部広報室（担当：長﨑）
TEL　大代表（078）331－8141
直通　（078）333－3247

Ⅰ. 調査方法等

◆調査時点　　2021 年 2 月
◆調査対象　　兵庫県内に本社を置くみなと銀行の取引先企業
◆調査方法　　聞き取りによるアンケート調査
◆依頼先数　　1,799 社
◆有効回答数　1,310 社（有効回答率 72.8%）
◆集計・分析　　ひょうご経済研究所

〔回答企業の内訳〕

【所在地】	社数	構成比（%）
神戸地域	395	30.2
阪神地域	301	23.0
播磨地域	475	36.3
但馬・丹波地域	52	4.0
淡路地域	87	6.6
無回答	0	0.0
合　計	1,310	100.0

神戸地域・・・神戸市
阪神地域・・・尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、
　　川辺郡（猪名川町）
播磨地域・・・姫路市、明石市、相生市、加古川市、赤穂市、西脇市、三木市、
　　高砂市、小野市、加西市、宍粟市、加東市、たつの市、
　　多可郡（多可町）、加古郡（稲美町、播磨町）、揖保郡（太子町）、
　　赤穂郡（上郡町）、神崎郡（市川町、福崎町、神河町）、
　　佐用郡（佐用町）
但馬・丹波地域・・・丹波篠山市、丹波市、豊岡市、養父市、朝来市、
　　美方郡（香美町、新温泉町）
淡路地域・・・洲本市、南あわじ市、淡路市

【業種】		社数	構成比（%）
製造業		356	27.2
非製造業	建設業	208	15.9
	卸売業	190	14.5
	小売業	83	6.3
	不動産業	163	12.4
	運輸業	66	5.0
	宿泊・飲食業	26	2.0
	医療・福祉	49	3.7
	サービス業	111	8.5
	その他	57	4.4
非製造業		953	72.7
無回答		1	0.1
合　計		1,310	100.0

【資本金】	社数	構成比（%）
500万円以下	111	8.5
500万円超～1千万円以下	382	29.2
1千万円超～2千万円以下	236	18.0
2千万円超～3千万円以下	157	12.0
3千万円超～5千万円以下	201	15.3
5千万円超～1億円以下	171	13.1
1億円超	34	2.6
無回答	18	1.4
合　計	1,310	100.0

【従業員数】		社数	構成比（%）
小規模企業	5名以下	141	10.8
	6～10名	149	11.4
	小計	290	22.1
中小企業	11～20名	231	17.6
	21～50名	379	28.9
	51～100名	195	14.9
	小計	805	61.5
中堅企業	101～200名	114	8.7
	201名以上	97	7.4
	小計	211	16.1
無回答		4	0.3
合　計		1,310	100.0

〔各種判断DIについて〕

※ DI（Diffusion Index）
【例】景況判断DI ＝「良い」と回答した企業の割合（%）－「悪い」と回答した企業の割合（%）

Ⅱ. 調査結果の概要

・景況判断は、製造業の改善が寄与して 3 四半期連続で改善した。新型コロナウイルスの感染再拡大で 2 度目の緊急事態宣言が発令されたこともあり、改善幅は 1.1 ポイントと前期(13.8 ポイント)と比べ小幅にとどまった。
・新型コロナウイルスの経営への影響は、今後の可能性を含めて「影響あり」が 83.3%であり、前期(85.3%)と同様 8 割を超える。昨年 12 月の売上への影響では、前年同月比で「横這い」を含めて「増加」が 63.6%となり、9 月比 3.8 ポイント改善した。
・2020 年度に採用活動を行った企業は 50.6%で、昨年度比 9.2 ポイント減少した。
・景況判断の今後の見通しは、感染拡大を防ぎつつ経済活動を進めるのは難しいことから、小幅改善の▲32.9 と慎重にみている。

景況判断 DI は1．1ポイント改善の▲34．9
先行きは2．0ポイント改善の▲32．9

項　　目	最近3ヵ月 〔2021 年 1 月～3 月〕	今後3ヵ月 〔2021 年 4 月～6 月〕
景況判断 「良い」－「悪い」	・全産業では▲34.9 と 3 四半期連続で改善。改善幅は 1.1 ポイントと小幅。 ・製造業は改善、非製造業は悪化。	・全産業では 2.0.ポイント改善の▲32.9 を予想。 ・製造業、非製造業ともに改善を見込む。
売上高判断 **（前年同期比）** 「増加」－「減少」	・全産業では 4.9 ポイント改善の▲28.9。 ・製造業は販売数量、販売単価が上昇。 ・非製造業は販売数量、販売単価が低下。	・全産業では 3.9 ポイントの改善の▲25.0。 ・製造業、非製造業ともに、販売数量、販売単価が上昇し、改善を見込む。
経常利益判断 **（前年同期比）** 「増加」－「減少」	・全産業では 1.6 ポイント改善の▲26.1。 ・製造業は改善し、非製造業は小規模、中堅企業で悪化した。	・全産業では 2.2 ポイントの改善の▲23.9 を予想。 ・製造業、非製造業ともに改善を見込む。
仕入価格判断 「上昇」－「低下」	・全産業では 1.1 ポイント上昇の▲3.2。 ・製造業は低下、非製造業は上昇。	・全産業では 1.1 ポイントの上昇を見込む。 ・製造業、非製造業ともに上昇を見込む。
生産判断 **【製造業のみ】** 「増加」－「減少」	・製造業全体では 15.5 ポイント上昇の▲17.4 と 2 四半期連続で上昇。 ・32.4%の企業は「減少」と回答。	・製造業全体では 2.4 ポイントの上昇予想。 ・小規模企業は横ばい、中小企業は上昇、中堅企業は低下を見込む。
在庫判断 「不足」－「過剰」	・「適正」とする企業が 9 割超。 ・全産業では過剰感はやや弱まり▲2.1。 ・製造業、非製造業とも過剰と判断。	・今後とも「適正」とする企業が多い。 ・全産業では▲1.2 と過剰感がやや弱まると予想。
資金繰り判断 「楽である」 －「苦しい」	・全産業では横這いの 0.8 と 2 四半期連続のプラス判断。 ・「楽」もしくは「普通」が大半を占める。	・全産業では1.4ポイントの悪化の▲0.6を予想。 ・製造業、非製造業ともに悪化すると予想。
雇用判断 「不足」－「過剰」	・全産業では 5.7 と不足感はやや弱まった。 ・製造業、非製造業とも不足感はやや弱まる。	・全産業では不足感が 0.2 ポイント強まると予想。
設備投資判断 「増加」－「減少」	・全産業では 1.4 ポイント上昇の▲3.6。 ・製造業、非製造業ともに上昇。	・全産業では 1.5 ポイントの上昇予想。 ・製造業、非製造業ともに上昇予想。
採用動向について	・2020 年度に採用活動を行った企業は 50.6%、採用活動をしていない企業は 48.4%となり、昨年度に比べ採用活動を行った企業は 9.2 ポイント減少した。	
新型コロナウイルスの影響	・「今後影響が出る可能性がある」を含めて「影響あり」が 83.3%と前期(85.3%)と同様 8 割強の企業に影響が及んでいる。	
昨年 12 月の売上水準	・売上水準(前年同月比)は、「横這い」を含めて「増加」が 63.6%となり、9 月比 3.8 ポイント改善した。	

Ⅲ. 個別項目の動向

1. 景況判断

(1)最近３ヵ月　〔2021 年１月～3 月〕

全産業･･･最近３ヵ月の景況判断DI(「良い」－「悪い」)は、1.1 ポイント改善の▲34.9 と３四半期連続で改善した。改善幅は小さい。

業種別･･･『製造業』は改善し、全体として 8.4 ポイント改善の▲37.9 と、7 四半期連続のマイナス判断となった。
『非製造業』は悪化し、全体では 1.9 ポイント悪化の▲33.8 となった。

規模別･･･『小規模企業』(従業員数 10 名以下)、『中小企業』(同 11～100 名)は改善し、『中堅企業』(同 101 名以上)は悪化した。

【参考】

地域別･･･『神戸地域』、『播磨地域』、『但馬・丹波地域』は改善したが、『阪神地域』、『淡路地域』は悪化した。

業種別･･･『製造業』、『建設業』、『卸売業』、『その他』は改善したが、これら以外の 6 業種は悪化した。特に『宿泊・飲食業』は 48.8 ポイント、『小売業』は 18.8 ポイントと悪化幅が大きい。

(2)今後３ヵ月　〔2021 年４月～6 月〕

全産業･･･先行きは、2.0 ポイント改善の▲32.9 を予想している。

業種別･･･『製造業』は 4.5 ポイント、『非製造業』は 1.1 ポイントの改善を見込む。

規模別･･･『小規模企業』、『中小企業』、『中堅企業』ともに改善を見込んでいる。

「良い」－「悪い」

項　目	2020年 4～6月	2020年 7～9月	2020年 10～12月	2021年 1～3月	2021年 4～6月 ≪見通し≫
全 産 業	▲ 57.4	▲ 49.8	▲ 36.0	▲ 34.9	▲ 32.9
小規模企業	▲ 52.1	▲ 43.4	▲ 33.0	▲ 31.7	▲ 29.3
中小企業	▲ 59.0	▲ 51.7	▲ 37.3	▲ 35.9	▲ 33.7
中堅企業	▲ 58.2	▲ 51.5	▲ 34.5	▲ 35.1	▲ 33.6
製 造 業	▲ 59.6	▲ 55.4	▲ 46.3	▲ 37.9	▲ 33.4
小規模企業	▲ 60.9	▲ 53.8	▲ 60.9	▲ 38.9	▲ 38.9
中小企業	▲ 61.1	▲ 56.8	▲ 46.6	▲ 40.9	▲ 34.4
中堅企業	▲ 52.9	▲ 50.7	▲ 40.8	▲ 28.2	▲ 28.2
非 製 造 業	▲ 56.5	▲ 47.5	▲ 31.9	▲ 33.8	▲ 32.7
小規模企業	▲ 51.3	▲ 42.3	▲ 30.4	▲ 31.4	▲ 28.8
中小企業	▲ 58.1	▲ 49.1	▲ 32.7	▲ 33.5	▲ 33.5
中堅企業	▲ 60.9	▲ 51.9	▲ 31.3	▲ 39.1	▲ 36.8

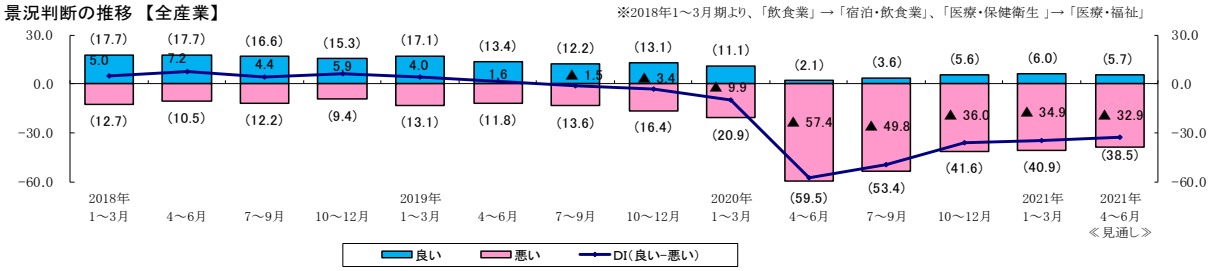
【参考】

「良い」－「悪い」

項　目			2020年 4～6月	2020年 7～9月	2020年 10～12月	2021年 1～3月	2021年 4～6月 ≪見通し≫
地域別	神戸地域		▲ 63.0	▲ 57.4	▲ 48.8	▲ 42.1	▲ 37.7
	阪神地域		▲ 49.8	▲ 45.4	▲ 30.1	▲ 30.8	▲ 28.2
	播磨地域		▲ 54.3	▲ 43.9	▲ 28.2	▲ 27.8	▲ 27.4
	但馬・丹波地域		▲ 71.4	▲ 63.9	▲ 45.1	▲ 38.5	▲ 40.4
	淡路地域		▲ 66.3	▲ 56.3	▲ 40.6	▲ 52.9	▲ 52.3
業種別	製 造 業		▲ 59.6	▲ 55.4	▲ 46.3	▲ 37.9	▲ 33.4
	非製造業	建設業	▲ 40.1	▲ 30.8	▲ 24.9	▲ 21.2	▲ 24.5
		卸売業	▲ 65.0	▲ 59.4	▲ 41.0	▲ 33.9	▲ 33.2
		小売業	▲ 81.5	▲ 64.9	▲ 37.3	▲ 56.1	▲ 48.8
		不動産業	▲ 45.3	▲ 33.1	▲ 21.9	▲ 22.1	▲ 17.8
		運輸業	▲ 66.7	▲ 53.6	▲ 30.9	▲ 36.9	▲ 37.9
		宿泊・飲食業	▲ 100.0	▲ 93.3	▲ 43.5	▲ 92.3	▲ 76.0
		医療・福祉	▲ 57.7	▲ 44.4	▲ 29.4	▲ 34.7	▲ 34.7
		サービス業	▲ 59.4	▲ 56.3	▲ 38.4	▲ 46.8	▲ 45.0
		その他	▲ 47.1	▲ 47.8	▲ 33.3	▲ 24.6	▲ 29.8

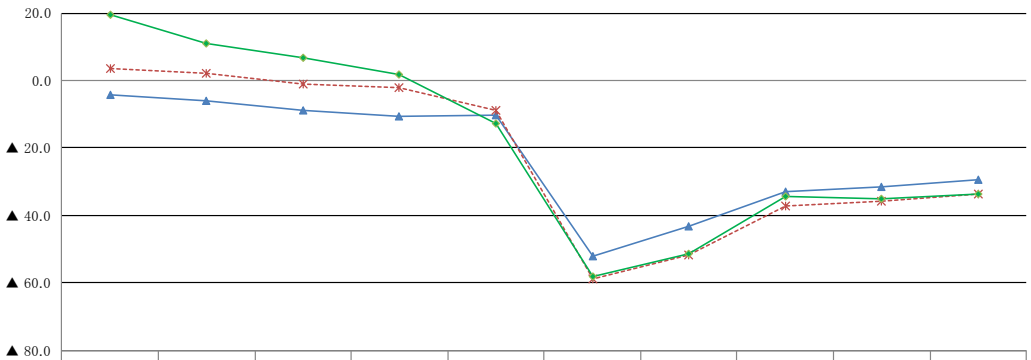
※2018年1～3月期より、「飲食業」→「宿泊・飲食業」、「医療・保健衛生 」→「医療・福祉」

景況判断の推移 【全産業】



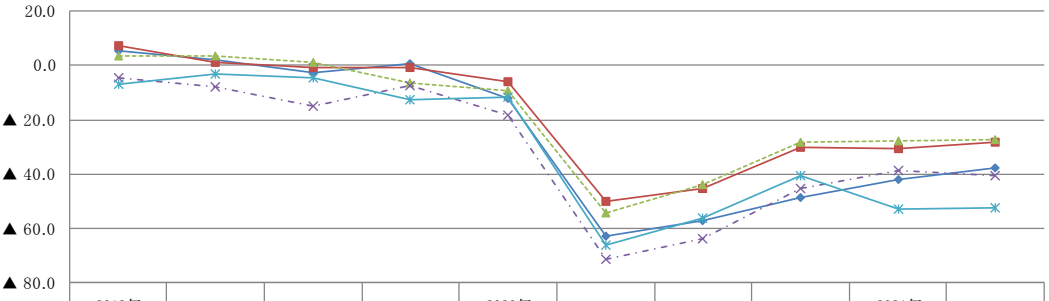
景況判断の推移明細

[規模別]



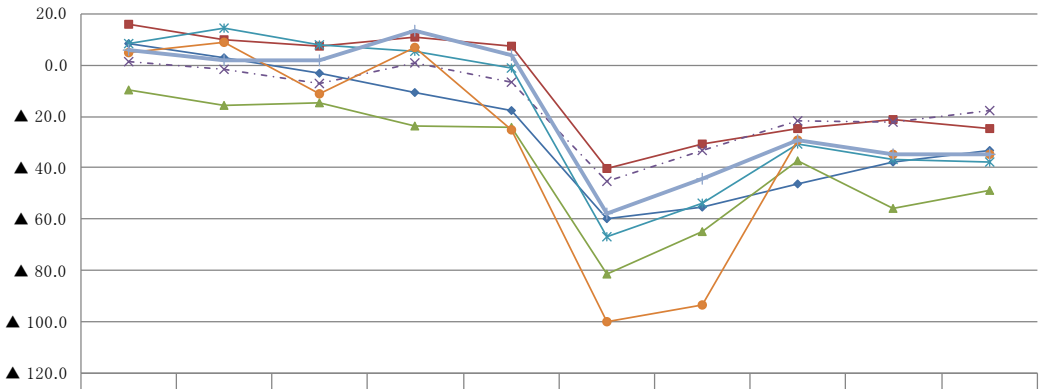
	2019年1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	2020年1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	2021年1～3月	4～6月≪見通し≫
小規模企業	▲ 4.4	▲ 6.0	▲ 9.0	▲ 10.7	▲ 10.2	▲ 52.1	▲ 43.4	▲ 33.0	▲ 31.7	▲ 29.3
中小企業	3.7	2.0	▲ 1.1	▲ 2.2	▲ 8.7	▲ 59.0	▲ 51.7	▲ 37.3	▲ 35.9	▲ 33.7
中堅企業	19.7	10.9	6.6	1.8	▲ 12.6	▲ 58.2	▲ 51.5	▲ 34.5	▲ 35.1	▲ 33.6

[地域別]



	2019年1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	2020年1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	2021年1～3月	4～6月≪見通し≫
神戸地域	5.5	2.1	▲ 2.5	0.7	▲ 12.1	▲ 63.0	▲ 57.4	▲ 48.8	▲ 42.1	▲ 37.7
阪神地域	7.3	1.1	▲ 1.0	▲ 0.8	▲ 6.0	▲ 49.8	▲ 45.4	▲ 30.1	▲ 30.8	▲ 28.2
播磨地域	3.4	3.4	1.2	▲ 6.7	▲ 9.1	▲ 54.3	▲ 43.9	▲ 28.2	▲ 27.8	▲ 27.4
丹波・但馬地域	▲ 4.7	▲ 7.7	▲ 15.0	▲ 7.3	▲ 18.3	▲ 71.4	▲ 63.9	▲ 45.1	▲ 38.5	▲ 40.4
淡路地域	▲ 7.1	▲ 3.1	▲ 4.6	▲ 12.6	▲ 11.6	▲ 66.3	▲ 56.3	▲ 40.6	▲ 52.9	▲ 52.3

[業種別]
（一部抜粋）



	2019年1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	2020年1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	2021年1～3月	4～6月≪見通し≫
製造業	8.2	3.1	▲ 3.4	▲ 10.7	▲ 17.7	▲ 59.6	▲ 55.4	▲ 46.3	▲ 37.9	▲ 33.4
建設業	16.1	10.1	7.4	10.8	7.2	▲ 40.1	▲ 30.8	▲ 24.9	▲ 21.2	▲ 24.5
小売業	▲ 9.6	▲ 15.7	▲ 14.5	▲ 23.5	▲ 24.2	▲ 81.5	▲ 64.9	▲ 37.3	▲ 56.1	▲ 48.8
不動産業	1.5	▲ 1.5	▲ 7.3	1.1	▲ 6.7	▲ 45.3	▲ 33.1	▲ 21.9	▲ 22.1	▲ 17.8
運輸業	8.6	14.5	7.8	5.5	▲ 1.4	▲ 66.7	▲ 53.6	▲ 30.9	▲ 36.9	▲ 37.9
宿泊・飲食業	4.8	9.1	▲ 11.1	6.7	▲ 25.0	▲ 100.0	▲ 93.3	▲ 29.4	▲ 34.7	▲ 34.7
医療・福祉	6.0	1.7	1.9	13.3	3.6	▲ 57.7	▲ 44.4	▲ 29.4	▲ 34.7	▲ 34.7

2. 売上高判断

(1)最近３ヵ月　〔2021 年１月～3 月〕

全産業･･･最近３ヵ月の売上高判断DI(「増加」－「減少」)は、全体では▲28.9 となり 4.9 ポイント改善した。

業種別･･･『製造業』は、▲28.2 と 15.8 ポイント改善した。『非製造業』は、▲29.2 と 0.6 ポイント改善した。

規模別･･･販売数量は小規模、中小企業で上昇、中堅企業で低下し、全体では 3.5 ポイント上昇の▲29.1 となった。販売単価は小規模、中小企業で上昇、中堅企業で低下し、全体では前回と変わらずの▲9.7 となった。

【参考】

地域別･･･『但馬･丹波地域』は悪化するも、その他の 4 地域(神戸、阪神、播磨、淡路)は改善した。全地域でマイナス判断が 4～6 四半期連続している。

業種別･･･『宿泊･飲食業』、『小売業』、『不動産業』、『サービス業』は悪化した。これら以外の業種は改善した。『宿泊･飲食業』と『小売業』はそれぞれ 48.8、13.0 ポイントの悪化となった。

(2)今後３ヵ月　〔2021 年４月～6 月〕

全産業･･･先行きは、3.9 ポイント改善し、▲25.0 になると予想している。

業種別･･･『製造業』は5.9ポイント改善の▲22.3、『非製造業』は3.1ポイント改善の▲26.1を見込む。

規模別･･･小規模企業は販売数量が上昇、販売単価が低下、中小企業は販売数量、販売単価とも上昇、中堅企業は販売数量が低下、販売単価が上昇すると見込んでいる。

（前年同期比）　「増加」－「減少」、「上昇」-「低下」

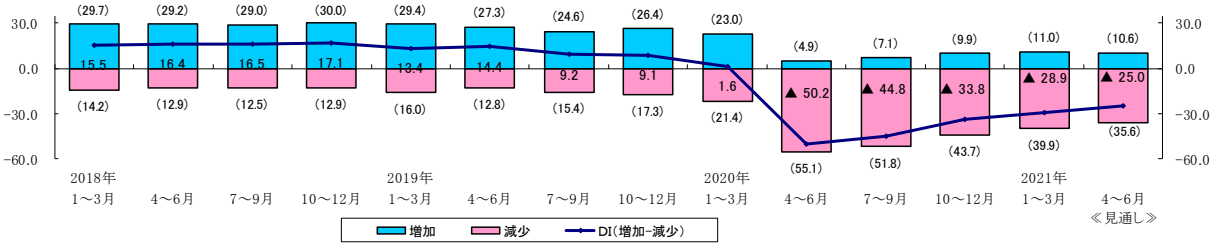
項　目	2020年 4～6月	2020年 7～9月	2020年 10～12月	2021年 1～3月	2021年 4～6月 ≪見通し≫
全 産 業	▲ 50.2	▲ 44.8	▲ 33.8	▲ 28.9	▲ 25.0
販売数量	▲ 49.5	▲ 44.0	▲ 32.6	▲ 29.1	▲ 24.3
小規模企業	▲ 40.2	▲ 32.1	▲ 26.5	▲ 25.5	▲ 19.6
中小企業	▲ 52.0	▲ 47.9	▲ 36.2	▲ 30.5	▲ 24.9
中堅企業	▲ 51.5	▲ 45.9	▲ 26.2	▲ 27.0	▲ 28.4
販売単価	▲ 17.3	▲ 15.5	▲ 9.7	▲ 9.7	▲ 8.1
小規模企業	▲ 14.7	▲ 11.9	▲ 8.8	▲ 4.8	▲ 5.1
中小企業	▲ 19.0	▲ 16.5	▲ 11.3	▲ 11.1	▲ 8.9
中堅企業	▲ 13.8	▲ 16.3	▲ 4.7	▲ 10.8	▲ 8.9
製 造 業	▲ 51.8	▲ 51.3	▲ 44.0	▲ 28.2	▲ 22.3
販売数量	▲ 50.9	▲ 50.4	▲ 43.1	▲ 27.4	▲ 21.5
販売単価	▲ 13.9	▲ 13.5	▲ 10.3	▲ 8.8	▲ 4.5
非 製 造 業	▲ 49.7	▲ 42.1	▲ 29.8	▲ 29.2	▲ 26.1
販売数量	▲ 49.0	▲ 41.4	▲ 28.3	▲ 29.7	▲ 25.5
販売単価	▲ 18.5	▲ 16.4	▲ 9.4	▲ 10.1	▲ 9.5

【参考】　「増加」－「減少」、「上昇」-「低下」

項　目		2020年 4～6月	2020年 7～9月	2020年 10～12月	2021年 1～3月	2021年 4～6月 ≪見通し≫
地域別	神戸地域	▲ 61.2	▲ 52.2	▲ 45.4	▲ 35.5	▲ 31.9
	阪神地域	▲ 40.0	▲ 35.6	▲ 22.6	▲ 20.7	▲ 13.6
	播磨地域	▲ 45.6	▲ 43.3	▲ 30.1	▲ 25.3	▲ 22.6
	但馬･丹波地域	▲ 69.8	▲ 58.3	▲ 25.5	▲ 34.6	▲ 28.8
	淡路地域	▲ 53.5	▲ 44.7	▲ 44.6	▲ 42.5	▲ 44.2
業種別	製 造 業	▲ 51.8	▲ 51.3	▲ 44.0	▲ 28.2	▲ 22.3
非製造業	建設業	▲ 35.5	▲ 25.3	▲ 16.7	▲ 15.9	▲ 14.9
	卸売業	▲ 57.7	▲ 54.2	▲ 41.0	▲ 30.2	▲ 26.8
	小売業	▲ 77.8	▲ 51.9	▲ 35.8	▲ 48.8	▲ 43.9
	不動産業	▲ 33.7	▲ 21.9	▲ 14.2	▲ 19.6	▲ 11.0
	運輸業	▲ 55.6	▲ 47.8	▲ 38.2	▲ 29.2	▲ 36.4
	宿泊･飲食業	▲ 100.0	▲ 93.3	▲ 43.5	▲ 92.3	▲ 72.0
	医療･福祉	▲ 46.2	▲ 46.3	▲ 27.5	▲ 16.3	▲ 20.4
	サービス業	▲ 53.5	▲ 58.3	▲ 42.4	▲ 47.7	▲ 43.2
	その他	▲ 49.0	▲ 46.4	▲ 35.3	▲ 19.3	▲ 21.1

※2018年1～3月期より、「飲食業」→「宿泊･飲食業」、「医療･保健衛生 」→「医療･福祉」

売上高判断の推移 【全産業】



3. 経常利益判断

(1)最近３ヵ月　〔2021 年１月～３月〕

全産業・・・最近３ヵ月の経常利益判断DI(「増加」－「減少」)は、1.6 ポイント改善の▲26.1 となった。

業種別・・・『製造業』は13.0ポイント改善の▲23.9、『非製造業』は2.9ポイント悪化の▲26.9となった。『製造業』は、企業規模にかかわらず改善。非製造業は小規模、中堅企業で悪化し、中小企業で改善した。

規模別・・・『小規模企業』は 6.8 ポイント、『中堅企業』は 0.7 ポイント悪化し、『中小企業』は 4.9 ポイント改善した。

【参考】

地域別・・・『神戸地域』、『但馬・丹波地域』が改善したが、『阪神地域』、『播磨地域』、『淡路地域』は悪化した。全地域でマイナス判断が 4～7 四半期連続している。

業種別・・・『製造業』、『建設業』、『卸売業』、『運輸業』、『その他』が改善したが、これら以外の業種は悪化した。特に『宿泊・飲食業』が 44.5 ポイント、『不動産業』が 13.7 ポイント、『小売業』が 12.9 ポイントと悪化幅が大きい。

(2)今後３ヵ月　〔2021 年４月～６月〕

全産業・・・先行きは、2.2 ポイント改善の▲23.9 を見込む。

業種別・・・『製造業』が 4.5 ポイント改善の▲19.4、『非製造業』は 1.3 ポイント改善の▲25.6 と予想している。

規模別・・・『小規模企業』、『中小企業』はそれぞれ 5.8 ポイント改善の▲20.8、2.1 ポイントの改善の▲24.7 を、『中堅企業』は 1.9 ポイントの悪化の▲24.4 を見込んでいる。

（前年同期比）　「増加」－「減少」

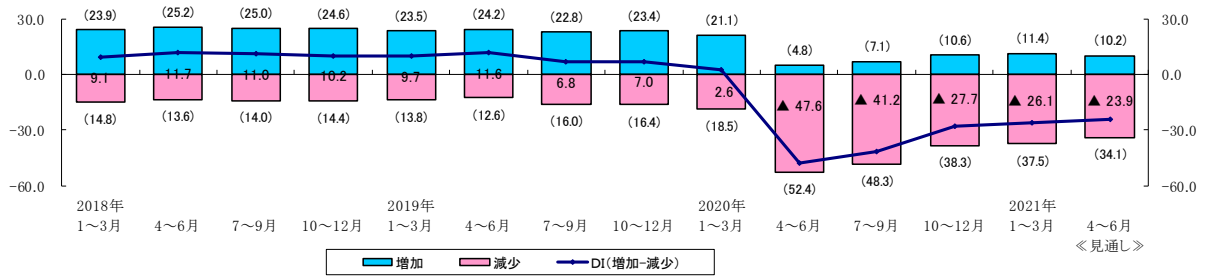
項　目	2020年4～6月	2020年7～9月	2020年10～12月	2021年1～3月	2021年4～6月≪見通し≫
全 産 業	▲ 47.6	▲ 41.2	▲ 27.7	▲ 26.1	▲ 23.9
小規模企業	▲ 38.5	▲ 32.6	▲ 19.8	▲ 26.6	▲ 20.8
中小企業	▲ 50.1	▲ 44.0	▲ 31.7	▲ 26.8	▲ 24.7
中堅企業	▲ 50.0	▲ 42.6	▲ 21.8	▲ 22.5	▲ 24.4
製 造 業	▲ 49.7	▲ 46.8	▲ 36.9	▲ 23.9	▲ 19.4
小規模企業	▲ 43.5	▲ 38.5	▲ 30.4	▲ 16.7	▲ 22.2
中小企業	▲ 50.4	▲ 48.7	▲ 41.0	▲ 28.6	▲ 21.2
中堅企業	▲ 48.5	▲ 42.7	▲ 23.7	▲ 11.7	▲ 14.3
非 製 造 業	▲ 46.9	▲ 39.0	▲ 24.0	▲ 26.9	▲ 25.6
小規模企業	▲ 38.1	▲ 32.0	▲ 18.8	▲ 27.3	▲ 20.7
中小企業	▲ 50.0	▲ 41.6	▲ 27.0	▲ 25.9	▲ 26.4
中堅企業	▲ 50.8	▲ 42.6	▲ 20.8	▲ 28.8	▲ 30.3

【参考】　「増加」－「減少」

項　目			2020年4～6月	2020年7～9月	2020年10～12月	2021年1～3月	2021年4～6月≪見通し≫
地域別	神戸地域		▲ 56.1	▲ 46.5	▲ 40.7	▲ 32.6	▲ 29.9
	阪神地域		▲ 38.1	▲ 34.9	▲ 18.3	▲ 18.9	▲ 12.7
	播磨地域		▲ 44.0	▲ 39.6	▲ 21.9	▲ 22.2	▲ 21.6
	但馬・丹波地域		▲ 63.5	▲ 55.6	▲ 29.4	▲ 28.8	▲ 27.5
	淡路地域		▲ 54.5	▲ 41.7	▲ 33.7	▲ 41.4	▲ 45.3
業種別	製 造 業		▲ 49.7	▲ 46.8	▲ 36.9	▲ 23.9	▲ 19.4
	非製造業	建設業	▲ 32.5	▲ 24.6	▲ 19.0	▲ 16.3	▲ 14.9
		卸売業	▲ 55.7	▲ 51.0	▲ 33.0	▲ 23.9	▲ 24.9
		小売業	▲ 79.0	▲ 48.1	▲ 20.9	▲ 33.8	▲ 33.8
		不動産業	▲ 29.7	▲ 19.2	▲ 6.5	▲ 20.2	▲ 12.9
		運輸業	▲ 53.2	▲ 47.8	▲ 27.9	▲ 26.2	▲ 34.8
		宿泊・飲食業	▲ 100.0	▲ 93.3	▲ 47.8	▲ 92.3	▲ 70.8
		医療・福祉	▲ 42.3	▲ 40.7	▲ 19.6	▲ 22.4	▲ 24.5
		サービス業	▲ 50.5	▲ 50.5	▲ 33.6	▲ 43.2	▲ 41.4
		その他	▲ 41.2	▲ 40.6	▲ 33.3	▲ 28.1	▲ 31.6

※2018年1～3月期より、「飲食業」→「宿泊・飲食業」、「医療・保健衛生 」→「医療・福祉」

経常利益判断の推移 【全産業】



4. 仕入価格判断

(1)最近 3ヵ月 〔2021 年 1 月～3 月〕

全産業・・・最近 3 ヵ月の仕入価格判断DI(「上昇」－「低下」)は▲3.2 と 1.1 ポイント上昇した。

業種別・・・『製造業』は小規模、中堅企業が低下し、中小企業が上昇し、全体では 0.3 ポイント低下の▲4.8 となった。『非製造業』は企業規模にかかわらず上昇し、全体では 1.8 ポイント上昇の▲2.5 となった。

規模別・・・『小規模企業』は 3.3 ポイント、『中小企業』は 0.4 ポイント上昇し、『中堅企業』は 0.2 ポイント低下した。

【参考】

地域別・・・『神戸地域』、『阪神地域』が上昇し、その他の 3 地域(播磨、但馬・丹波、淡路)は低下した。『阪神地域』がプラス判断に、『播磨地域』、『淡路地域』がマイナス判断に転じた。

業種別・・・『製造業』、『卸売業』、『小売業』、『宿泊・飲食業』は低下し、これら以外の業種は上昇した。『建設業』、『不動産業』、『医療・福祉』がプラス判断となった。

(2)今後 3ヵ月 〔2021 年 4 月～6 月〕

全産業・・・先行きは、1.1 ポイント上昇の▲2.1 と予想している。

業種別・・・『製造業』は 2.3 ポイント上昇の▲2.5、『非製造業』は 0.6 ポイント上昇の▲1.9 を見込む。

規模別・・・『小規模企業』は 0.4 ポイント、『中小企業』は 1.4 ポイント、『中堅企業』は 1.4 ポイント上昇するとみている。

(前年同期比)　「上昇」－「低下」

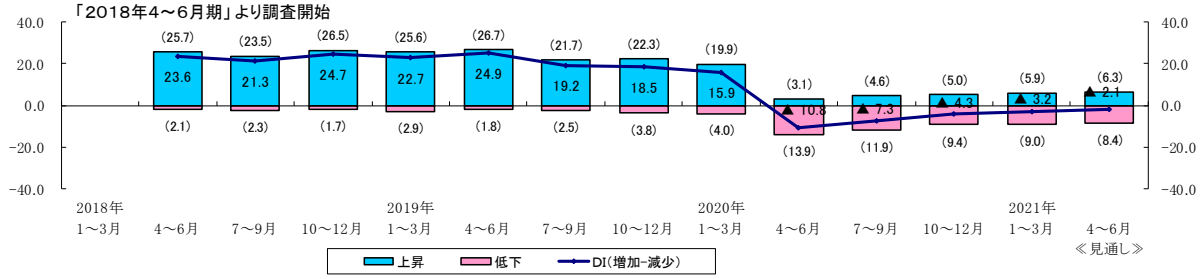
項　目	2020年 4～6月	2020年 7～9月	2020年 10～12月	2021年 1～3月	2021年 4～6月 ≪見通し≫
全　産　業	▲ 10.8	▲ 7.3	▲ 4.3	▲ 3.2	▲ 2.1
小規模企業	▲ 5.9	▲ 5.9	▲ 1.5	1.8	2.2
中小企業	▲ 12.3	▲ 7.5	▲ 5.3	▲ 4.9	▲ 3.5
中堅企業	▲ 10.1	▲ 8.6	▲ 3.7	▲ 3.9	▲ 2.5
製　造　業	▲ 8.4	▲ 7.0	▲ 4.5	▲ 4.8	▲ 2.5
小規模企業	4.3	0.0	8.7	0.0	11.1
中小企業	▲ 6.4	▲ 6.6	▲ 5.7	▲ 5.0	▲ 4.2
中堅企業	▲ 19.1	▲ 10.7	▲ 3.9	▲ 6.5	0.0
非　製　造　業	▲ 11.7	▲ 7.5	▲ 4.3	▲ 2.5	▲ 1.9
小規模企業	▲ 6.8	▲ 6.5	▲ 2.5	2.0	1.6
中小企業	▲ 14.9	▲ 8.0	▲ 5.1	▲ 4.8	▲ 3.1
中堅企業	▲ 5.0	▲ 7.3	▲ 3.5	▲ 2.4	▲ 3.9

【参考】　「上昇」－「低下」

項　目			2020年 4～6月	2020年 7～9月	2020年 10～12月	2021年 1～3月	2021年 4～6月 ≪見通し≫
地域別	神戸地域		▲ 13.9	▲ 14.4	▲ 16.4	▲ 9.4	▲ 9.4
	阪神地域		▲ 3.0	▲ 2.9	▲ 2.2	0.4	▲ 0.4
	播磨地域		▲ 12.4	▲ 3.9	0.4	▲ 0.4	1.3
	但馬・丹波地域		▲ 11.3	▲ 11.1	9.8	1.9	3.8
	淡路地域		▲ 17.0	▲ 8.2	3.1	▲ 5.8	2.4
業種別	製　造　業		▲ 8.4	▲ 7.0	▲ 4.5	▲ 4.8	▲ 2.5
	非製造業	建設業	▲ 4.2	▲ 2.1	0.5	4.0	4.0
		卸売業	▲ 16.0	▲ 7.9	▲ 3.0	▲ 3.2	▲ 1.6
		小売業	▲ 26.3	▲ 6.5	▲ 3.0	▲ 9.9	▲ 6.2
		不動産業	▲ 5.7	▲ 4.2	▲ 1.4	3.3	1.3
		運輸業	▲ 22.0	▲ 19.7	▲ 9.4	▲ 6.9	▲ 6.8
		宿泊・飲食業	▲ 23.8	▲ 33.3	▲ 26.1	▲ 30.8	▲ 24.0
		医療・福祉	2.2	0.0	0.0	2.5	2.5
		サービス業	▲ 14.6	▲ 16.2	▲ 13.1	▲ 8.4	▲ 8.4
		その他	▲ 8.3	▲ 4.6	▲ 6.0	▲ 3.8	▲ 2.0

※2018年1～3月期より、「飲食業」→「宿泊・飲食業」、「医療・保健衛生 」→「医療・福祉」

仕入価格判断の推移 【全産業】



5. 生産判断（製造業のみ）

(1)最近３ヵ月 〔2021 年 1 月～3 月〕

全体・・・・・最近３ヵ月の生産判断DI(「増加」－「減少」)は▲17.4 となり、15.5 ポイント上昇と２四半期連続で上昇した。ただし、依然として全体の 3 分の 1(32.4%)の企業は「減少」と回答している。

規模別・・・『小規模企業』が 27.9 ポイント、『中小企業』が 11.0 ポイント、『中堅企業』が 26.8 ポイント上昇した。

【参考】

地域別・・・全５地域(神戸、阪神、播磨、但馬・丹波、淡路)で上昇した。全地域でマイナス判断が４～５四半期連続している。

(2)今後３ヵ月 〔2021 年 4 月～6 月〕

全体・・・・・先行きは、▲15.0 と 2.4 ポイントの上昇を見込む。

規模別・・・『小規模企業』は横ばい、『中小企業』は 3.6 ポイントの上昇、『中堅企業』は 2.7 ポイントの低下を見込む。

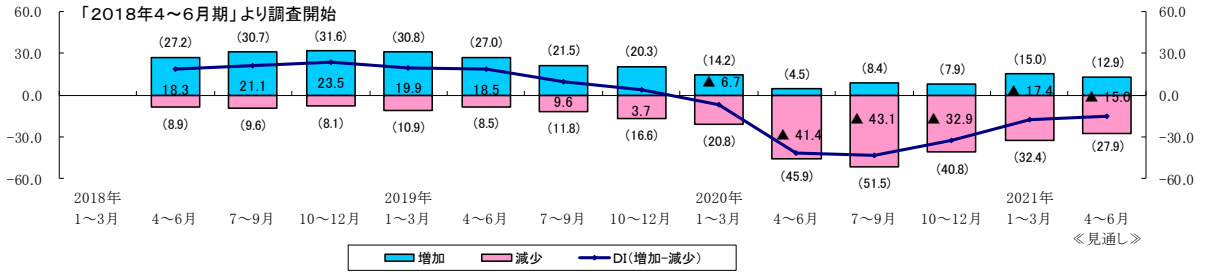
（前年同期比）　「増加」－「減少」

項　目	2020年 4～6月	2020年 7～9月	2020年 10～12月	2021年 1～3月	2021年 4～6月 ≪見通し≫
製 造 業	▲ 41.4	▲ 43.1	▲ 32.9	▲ 17.4	▲ 15.0
小規模企業	▲ 40.9	▲ 42.9	▲ 45.5	▲ 17.6	▲ 17.6
中小企業	▲ 42.2	▲ 45.0	▲ 33.1	▲ 22.1	▲ 18.5
中堅企業	▲ 41.8	▲ 36.5	▲ 28.2	▲ 1.4	▲ 4.1

【参考】　「増加」－「減少」

項　目		2020年 4～6月	2020年 7～9月	2020年 10～12月	2021年 1～3月	2021年 4～6月 ≪見通し≫
地域別	神戸地域	▲ 47.0	▲ 45.3	▲ 44.4	▲ 18.8	▲ 19.4
	阪神地域	▲ 43.2	▲ 54.5	▲ 32.6	▲ 17.0	▲ 7.8
	播磨地域	▲ 31.1	▲ 38.9	▲ 26.0	▲ 14.1	▲ 13.2
	但馬・丹波地域	▲ 74.1	▲ 42.9	▲ 45.0	▲ 21.1	▲ 25.0
	淡路地域	▲ 60.0	▲ 52.4	▲ 47.8	▲ 40.0	▲ 35.7

生産判断の推移 【製造業】



6. 在庫判断

(1)最近３ヵ月　〔2021 年１月～3 月〕

全産業･･･「適正」の判断が大半(93.5%)を占めるが、最近３ヵ月の在庫判断DI(「不足」－「過剰」)は、『全産業』が▲2.9 から▲2.1 となり、過剰感がやや弱まった。

業種別･･･『製造業』は過剰感が 2.2 ポイント強まり▲5.6、一方『非製造業』は過剰感が 2.1 ポイント弱まり▲0.6 となった。

規模別･･･『小規模企業』は▲1.5、『中小企業』は▲2.9 と過剰、『中堅企業』は 0.5 と不足と判断している。

【参考】

地域別･･･『阪神地域』、『但馬・丹波地域』、『淡路地域』は不足、『神戸地域』、『播磨地域』は過剰となった。

業種別･･･『卸売業』が適正、『製造業』、『小売業』が過剰、『建設業』、『不動産業』が不足となっている。

(2)今後３ヵ月　〔2021 年４月～6 月〕

全産業･･･今後についても「適正」とする企業が多いが、先行きは▲1.2 となり、過剰感がやや弱まると予想している。

業種別･･･『製造業』は▲4.8 と過剰感がやや弱まり、『非製造業』は 0.2 と不足に転じると見ている。

規模別･･･『小規模企業』は不足に転じ、『中小企業』は過剰感がやや弱まり、『中堅企業』は過剰に転じると予想している。

「不足」－「過剰」

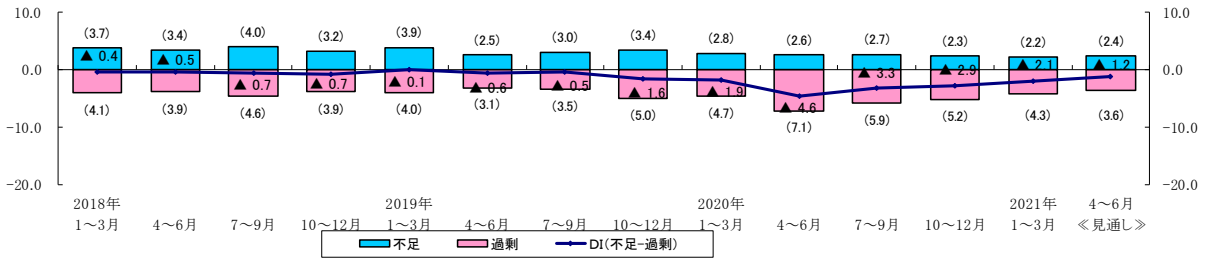
項　目	2020年 4～6月	2020年 7～9月	2020年 10～12月	2021年 1～3月	2021年 4～6月 ≪見通し≫
全　産　業	▲ 4.6	▲ 3.3	▲ 2.9	▲ 2.1	▲ 1.2
小規模企業	▲ 2.6	▲ 1.5	▲ 1.2	▲ 1.5	0.4
中小企業	▲ 5.5	▲ 4.1	▲ 4.1	▲ 2.9	▲ 2.0
中堅企業	▲ 1.6	▲ 2.1	▲ 0.5	0.5	▲ 0.5
製　造　業	▲ 6.9	▲ 6.2	▲ 3.4	▲ 5.6	▲ 4.8
小規模企業	▲ 21.7	▲ 11.5	▲ 4.3	▲ 5.6	▲ 5.6
中小企業	▲ 7.3	▲ 5.9	▲ 4.9	▲ 7.3	▲ 5.4
中堅企業	▲ 1.5	▲ 5.3	2.6	0.0	▲ 2.6
非　製　造　業	▲ 3.7	▲ 2.0	▲ 2.7	▲ 0.6	0.2
小規模企業	▲ 0.8	▲ 0.4	▲ 0.9	▲ 1.2	0.8
中小企業	▲ 4.7	▲ 3.2	▲ 3.6	▲ 0.6	▲ 0.2
中堅企業	▲ 1.7	0.0	▲ 2.2	0.8	0.8

【参考】

「不足」－「過剰」

項　目			2020年 4～6月	2020年 7～9月	2020年 10～12月	2021年 1～3月	2021年 4～6月 ≪見通し≫
地域別	神戸地域		▲ 3.1	▲ 5.0	▲ 5.6	▲ 4.2	▲ 3.1
	阪神地域		▲ 1.0	1.5	0.0	1.8	1.8
	播磨地域		▲ 7.5	▲ 4.2	▲ 3.9	▲ 4.1	▲ 3.0
	但馬･丹波地域		▲ 10.2	▲ 8.8	▲ 2.0	5.9	7.8
	淡路地域		▲ 4.3	▲ 3.1	4.1	1.2	1.2
業種別	製　造　業		▲ 6.9	▲ 6.2	▲ 3.4	▲ 5.6	▲ 4.8
	非製造業	建設業	1.1	▲ 0.6	▲ 1.0	1.6	2.6
		卸売業	▲ 7.0	▲ 7.9	▲ 9.5	0.0	0.0
		小売業	▲ 15.0	▲ 4.1	▲ 6.0	▲ 14.6	▲ 13.4
		不動産業	▲ 0.6	0.0	1.5	3.4	4.8

在庫判断の推移 【全産業】



7. 資金繰り判断

(1)最近３ヵ月 〔2021 年１月～3 月〕

全産業・・・最近３ヵ月の資金繰り判断DI(「楽である」－「苦しい」)は、横這いの 0.8 となり、2 四半期連続のプラス判断となった。
全体では「楽である」(8.2%)と「普通」(84.4%)を合わせて 92.6%と大半を占める。

業種別・・・『製造業』は 3.2 ポイント改善の 4.8 となった。小規模、中小企業がそれぞれ 4.3 ポイント改善の 0.0、5.4 ポイント改善の 5.0 となり、中堅企業が 5.3 ポイント悪化の 5.2、となった。『非製造業』は 1.1 ポイント悪化の▲0.6 となった。小規模企業は 1.3 改善の▲1.1、中小、中堅企業はそれぞれ 1.6 ポイント悪化の▲0.2、2.9 ポイント悪化の▲0.8 となった。

規模別・・・『小規模企業』、『中小企業』は改善し、『中堅企業』は悪化した。

【参考】

地域別・・・『神戸地域』は改善し、プラス判断に転じた。その他の 4 地域(阪神、播磨、但馬・丹波、淡路)は悪化し、3 地域(阪神、但馬・丹波、淡路)はマイナス判断が拡大した。

業種別・・・『建設業』、『小売業』、『不動産業』、『宿泊・飲食業』、『医療・福祉』が悪化した。特に『小売業』と『宿泊・飲食業』の悪化幅が大きかった。

(2)今後３ヵ月 〔2021 年４月～6 月〕

全産業・・・先行きは、1.4 ポイント悪化の▲0.6 を見込む。

業種別・・・『製造業』は 2.3 ポイント悪化の 2.5、『非製造業』は 1.2 ポイント悪化の▲1.8 を見込む。

規模別・・・『小規模企業』、『中小企業』、『中堅企業』はともに悪化すると予想している。

「楽である」－「苦しい」

項　目	2020年 4～6月	2020年 7～9月	2020年 10～12月	2021年 1～3月	2021年 4～6月 ≪見通し≫
全 産 業	▲ 8.7	▲ 4.1	0.8	0.8	▲ 0.6
小規模企業	▲ 7.0	▲ 2.5	▲ 2.6	▲ 1.0	▲ 1.4
中小企業	▲ 8.9	▲ 5.0	0.8	1.5	▲ 0.4
中堅企業	▲ 8.2	▲ 2.5	5.0	1.4	0.5
製 造 業	▲ 7.0	▲ 2.2	1.6	4.8	2.5
小規模企業	▲ 13.0	▲ 3.8	▲ 4.3	0.0	5.6
中小企業	▲ 8.6	▲ 3.3	▲ 0.4	5.0	0.8
中堅企業	0.0	2.7	10.5	5.2	7.8
非 製 造 業	▲ 9.4	▲ 4.8	0.5	▲ 0.6	▲ 1.8
小規模企業	▲ 6.4	▲ 2.4	▲ 2.4	▲ 1.1	▲ 1.8
中小企業	▲ 9.0	▲ 5.9	1.4	▲ 0.2	▲ 0.9
中堅企業	▲ 12.5	▲ 5.4	2.1	▲ 0.8	▲ 3.8

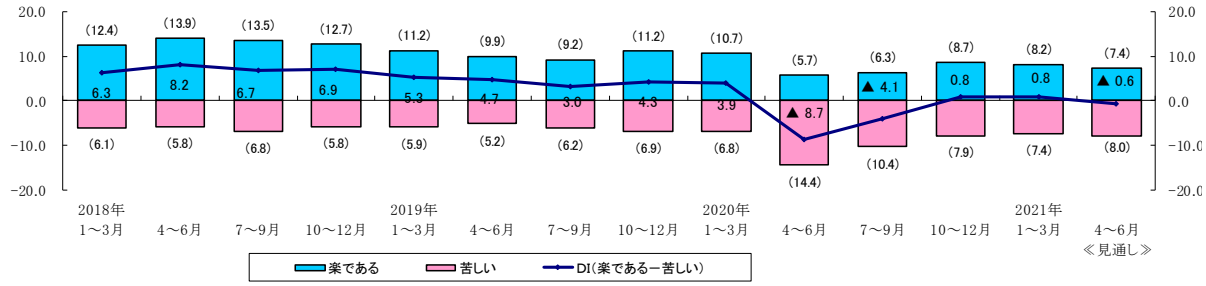
【参考】

「楽である」－「苦しい」

項　目			2020年 4～6月	2020年 7～9月	2020年 10～12月	2021年 1～3月	2021年 4～6月 ≪見通し≫
地域別	神戸地域		▲ 9.4	▲ 6.0	▲ 1.8	1.5	▲ 0.8
	阪神地域		▲ 10.8	▲ 7.7	▲ 1.4	▲ 1.7	▲ 1.7
	播磨地域		▲ 4.5	0.4	4.9	4.2	2.3
	但馬・丹波地域		▲ 9.5	▲ 13.9	▲ 5.9	▲ 11.5	▲ 11.5
	淡路地域		▲ 18.8	▲ 4.9	▲ 1.0	▲ 4.6	▲ 5.7
業種別	製 造 業		▲ 7.0	▲ 2.2	1.6	4.8	2.5
	非製造業	建設業	4.6	3.5	8.1	3.8	3.4
		卸売業	▲ 11.9	▲ 8.3	▲ 0.5	2.6	0.5
		小売業	▲ 24.7	0.0	▲ 3.0	▲ 14.6	▲ 14.6
		不動産業	▲ 5.3	1.3	2.6	▲ 1.8	0.0
		運輸業	▲ 15.9	▲ 11.6	0.0	0.0	▲ 4.6
		宿泊・飲食業	▲ 54.5	▲ 40.0	▲ 26.1	▲ 34.6	▲ 34.6
		医療・福祉	▲ 11.5	▲ 7.4	2.0	0.0	▲ 2.1
		サービス業	▲ 7.9	▲ 12.6	▲ 4.0	2.7	▲ 0.9
		その他	▲ 15.7	▲ 10.1	▲ 7.8	3.5	1.8

※2018年1～3月期より、「飲食業」→「宿泊・飲食業」、「医療・保健衛生 」→「医療・福祉」

資金繰り判断の推移 【全産業】



8. 雇用判断

(1)最近 3ヵ月 〔2021 年 1 月～3 月〕

全産業・・・最近 3 ヵ月の雇用判断DI(「不足」－「過剰」)は、1.6 ポイント低下の 5.7 と、不足感はやや弱まった。

業種別・・・『製造業』は 2.5 ポイント低下の 1.4、『非製造業』は 1.3 ポイント低下の 7.3 となった。

規模別・・・『小規模企業』は 2.6 ポイント上昇し、『中小企業』、『中堅企業』はそれぞれ 3.2 ポイント、0.7 ポイント低下した。

【参考】

地域別・・・『神戸地域』、『播磨地域』、『淡路地域』は低下し、『阪神地域』、『但馬・丹波地域』は上昇した。特に『但馬・丹波地域』は 11.5 となり、不足感が強まった。

業種別・・・『建設業』、『医療・福祉』、『その他』は上昇、それ以外の業種は低下した。特に『卸売業』と『宿泊・飲食業』では過剰の状態となった。

(2)今後 3ヵ月 〔2021 年 4 月～6 月〕

全産業・・・先行きは、5.9 と 0.2 ポイント上昇し、不足感がやや強まる予想となった。

業種別・・・『製造業』は 1.4 ポイント上昇の 2.8 とやや不足感が強まり、『非製造業』は 0.3 ポイント低下の 7.0 と不足感は弱まると予想している。

規模別・・・『小規模企業』は不足感が弱まり、『中小企業』、『中堅企業』は不足感が強まると見ている。

「不足」－「過剰」

項　目	2020年 4～6月	2020年 7～9月	2020年 10～12月	2021年 1～3月	2021年 4～6月 ≪見通し≫
全 産 業	3.6	4.2	7.3	5.7	5.9
小規模企業	3.1	5.0	4.0	6.6	6.2
中小企業	2.7	4.2	8.7	5.5	5.9
中堅企業	7.1	3.4	5.9	5.2	5.7
製 造 業	0.6	3.2	3.9	1.4	2.8
小規模企業	4.3	11.5	8.7	0.0	5.6
中小企業	▲ 0.4	2.2	3.5	1.2	3.1
中堅企業	0.0	4.0	3.9	2.6	1.3
非 製 造 業	4.6	4.6	8.6	7.3	7.0
小規模企業	3.0	4.3	3.6	7.0	6.3
中小企業	4.1	5.2	11.3	7.6	7.2
中堅企業	10.9	3.1	6.9	6.8	8.3

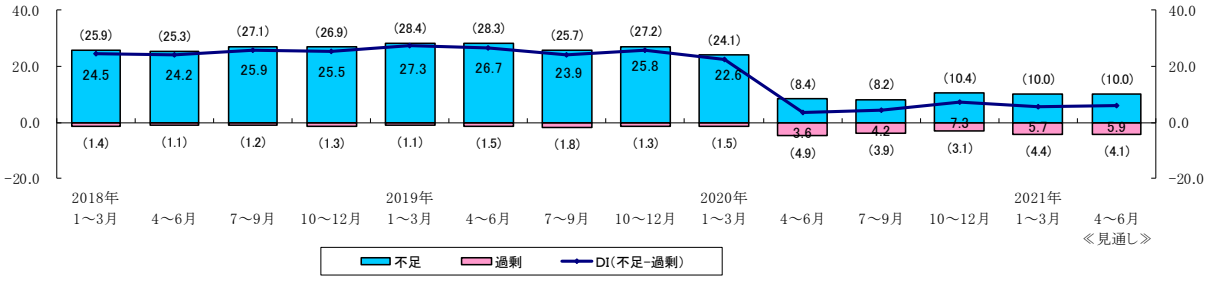
【参考】

「不足」－「過剰」

項　目		2020年 4～6月	2020年 7～9月	2020年 10～12月	2021年 1～3月	2021年 4～6月 ≪見通し≫
地域別	神戸地域	▲ 0.3	0.8	7.3	6.3	6.3
	阪神地域	5.7	4.9	6.1	6.4	5.7
	播磨地域	4.5	5.5	7.2	4.4	5.1
	但馬・丹波地域	4.8	19.4	7.8	11.5	9.6
	淡路地域	5.0	3.9	10.9	3.4	6.9
業種別	製 造 業	0.6	3.2	3.9	1.4	2.8
非製造業	建設業	18.3	21.6	23.1	24.5	23.1
	卸売業	▲ 2.5	▲ 1.6	3.0	▲ 4.2	▲ 4.2
	小売業	▲ 8.6	0.0	7.5	7.3	6.1
	不動産業	1.8	2.6	2.6	1.8	1.2
	運輸業	1.6	0.0	13.2	9.2	10.6
	宿泊・飲食業	▲ 9.1	▲ 33.3	▲ 8.7	▲ 15.4	▲ 15.4
	医療・福祉	11.5	0.0	5.9	16.3	16.3
	サービス業	6.1	4.9	6.4	4.5	5.4
	その他	9.8	▲ 1.4	▲ 2.0	3.5	5.3

※2018年1～3月期より、「飲食業」→「宿泊・飲食業」、「医療・保健衛生 」→「医療・福祉」

雇用判断の推移 【全産業】



9. 設備投資判断

(1)最近 3ヵ月 〔2021 年 1 月～3 月〕

全産業・・・最近 3 ヵ月の設備投資判断DI(「増加」－「減少」)は、1.4 ポイント上昇の▲3.6 となるも、4 四半期連続のマイナス判断となった。

業種別・・・『製造業』は企業規模にかかわらず上昇し、全体では▲4.2 と 3.7 ポイント上昇した。『非製造業』は小規模企業が低下、中小、中堅企業が上昇し、全体では▲3.3 と 0.5 ポイント上昇した。

規模別・・・『小規模企業』が 1.5 ポイント低下の▲6.8、『中小企業』が 1.0 ポイント上昇の▲4.0、『中堅企業』が 7.0 ポイント上昇の 2.4 となった。

【参考】

地域別・・・『淡路地域』は低下し、その他の 4 地域(神戸、阪神、播磨、但馬・丹波)は上昇したが、すべての地域でマイナス判断となった。

業種別・・・『不動産業』、『宿泊・飲食業』、『サービス業』、『その他』は低下し、これら以外の業種は上昇した。『建設業』と『医療福祉』はプラス判断となった。

(2)今後 3ヵ月 〔2021 年 4 月～6 月〕

全産業・・・先行きは、1.5 ポイント上昇の▲2.1 を見込む。

業種別・・・『製造業』は 3.9 ポイント上昇の▲0.3、『非製造業』も 0.5 ポイント上昇の▲2.8 を予想している。

規模別・・・『小規模企業』、『中小企業』、『中堅企業』はそれぞれ 1.4 ポイント、1.1 ポイント、2.8 ポイントの上昇を予想している。

(前年同期比)　「増加」－「減少」

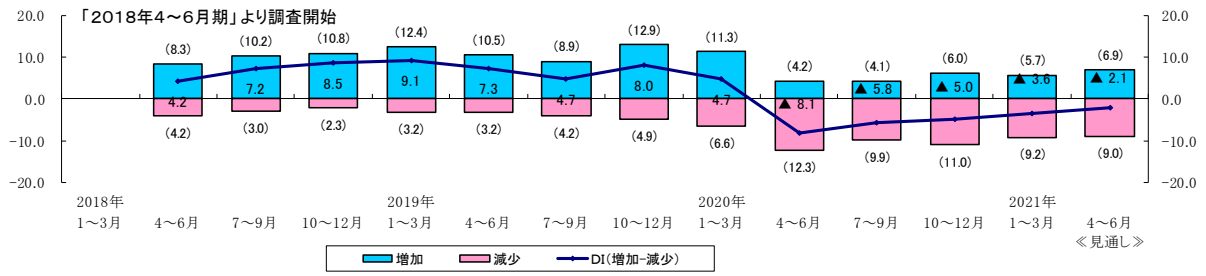
項　目	2020年 4～6月	2020年 7～9月	2020年 10～12月	2021年 1～3月	2021年 4～6月 ≪見通し≫
全 産 業	▲ 8.1	▲ 5.8	▲ 5.0	▲ 3.6	▲ 2.1
小規模企業	▲ 4.0	▲ 6.1	▲ 5.3	▲ 6.8	▲ 5.4
中小企業	▲ 10.2	▲ 5.7	▲ 5.0	▲ 4.0	▲ 2.9
中堅企業	▲ 6.3	▲ 6.1	▲ 4.6	2.4	5.2
製 造 業	▲ 9.1	▲ 6.6	▲ 7.9	▲ 4.2	▲ 0.3
小規模企業	4.3	0.0	▲ 13.0	▲ 5.6	▲ 11.1
中小企業	▲ 12.8	▲ 7.1	▲ 7.8	▲ 5.4	▲ 1.5
中堅企業	▲ 1.5	▲ 6.8	▲ 6.6	0.0	6.4
非 製 造 業	▲ 7.8	▲ 5.5	▲ 3.8	▲ 3.3	▲ 2.8
小規模企業	▲ 4.7	▲ 6.8	▲ 4.6	▲ 6.9	▲ 5.0
中小企業	▲ 9.0	▲ 4.9	▲ 3.6	▲ 3.4	▲ 3.5
中堅企業	▲ 8.8	▲ 5.7	▲ 3.5	3.8	4.5

【参考】　「増加」－「減少」

項　目			2020年 4～6月	2020年 7～9月	2020年 10～12月	2021年 1～3月	2021年 4～6月 ≪見通し≫
地域別	神戸地域		▲ 9.4	▲ 5.4	▲ 6.1	▲ 5.6	▲ 2.6
	阪神地域		▲ 8.3	▲ 10.0	▲ 4.5	▲ 2.1	▲ 2.4
	播磨地域		▲ 7.3	▲ 5.5	▲ 5.5	▲ 2.7	▲ 0.6
	但馬・丹波地域		0.0	▲ 8.3	▲ 7.8	▲ 7.7	▲ 9.6
	淡路地域		▲ 12.0	2.9	2.0	▲ 1.1	▲ 2.3
業種別	製 造 業		▲ 9.1	▲ 6.6	▲ 7.9	▲ 4.2	▲ 0.3
	非製造業	建設業	▲ 4.8	▲ 2.6	▲ 0.9	1.0	1.5
		卸売業	▲ 11.1	▲ 7.9	▲ 8.2	▲ 5.3	▲ 4.2
		小売業	▲ 19.2	▲ 6.7	▲ 10.4	▲ 10.0	▲ 8.8
		不動産業	▲ 3.1	▲ 5.2	1.4	▲ 3.9	▲ 4.5
		運輸業	0.0	▲ 4.4	▲ 10.4	0.0	▲ 4.7
		宿泊・飲食業	▲ 18.2	▲ 13.3	▲ 13.0	▲ 19.2	▲ 15.4
		医療・福祉	▲ 3.8	1.9	8.0	12.5	14.6
		サービス業	▲ 7.1	▲ 6.1	▲ 4.8	▲ 6.3	▲ 5.4
		その他	▲ 14.0	▲ 10.3	▲ 2.0	▲ 5.5	▲ 1.8

※2018年1～3月期より、「飲食業」→「宿泊・飲食業」、「医療・保健衛生」→「医療・福祉」

設備投資判断の推移 【全産業】

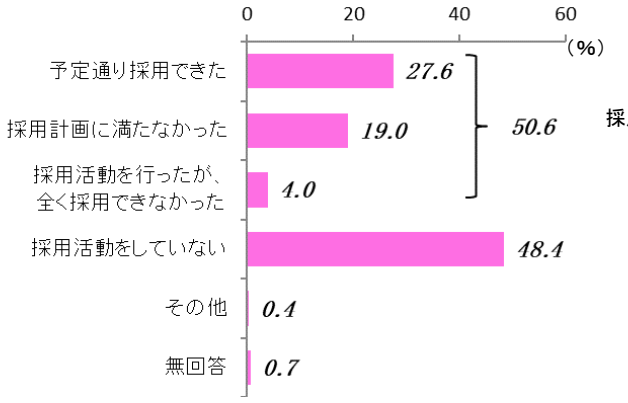


◆ 採用動向について

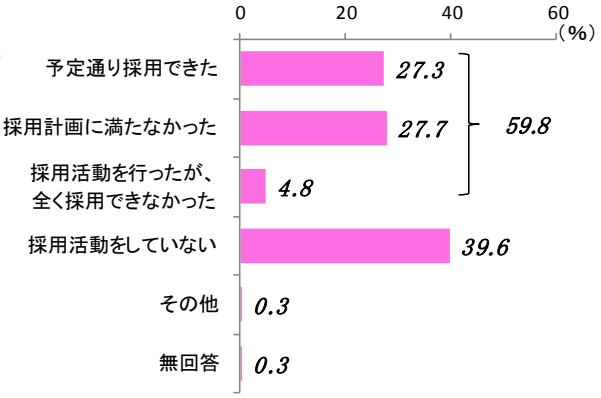
(1)2020 年度の採用実績

・2020 年度に採用活動を行った企業は 50.6%、採用活動をしていない企業は 48.4%となり、昨年度に比べ採用活動を行った企業は 9.2 ポイント減少した。「予定通り採用できた」は 27.6%、「採用計画に満たなかった」は 19.0%となった。
・規模別に採用活動を実施した企業をみると、中堅企業が 84.4%と 8 割を超えるのに対し、小規模企業は 15.2%となっており、規模による差が大きい。
・業種別の実施状況は、製造業が 58.1%、非製造業が 47.8%となっており、製造業において採用活動を実施した企業の構成比が高い。

今年度



【参考】 前年度(2019年度)の採用実績

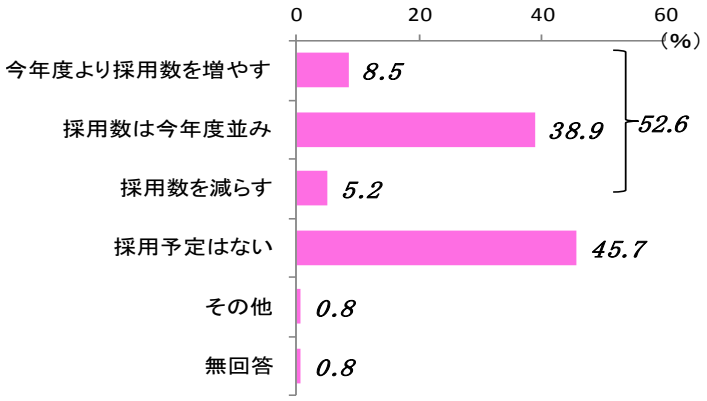


(%)

		回答企業数(社)	①予定通り採用できた	②採用計画に満たなかった	③採用活動を行ったが、全く採用できなかった	①+②+③採用活動を行った	採用活動をしていない	その他	無回答	合計
全産業		1,310	27.6	19.0	4.0	50.6	48.4	0.4	0.7	100.0
規模別	小規模企業	290	5.9	5.2	4.1	15.2	84.1	0.3	0.3	100.0
	中小企業	805	29.1	21.2	4.2	54.5	44.3	0.4	0.7	100.0
	中堅企業	211	51.7	29.9	2.8	84.4	14.2	0.5	0.9	100.0
業種別	製造業	356	34.8	20.2	3.1	58.1	39.9	0.6	1.4	100.0
	非製造業	953	24.9	18.6	4.3	47.8	51.5	0.3	0.4	100.0

(2)2021 年度の採用計画

・2021 年度の採用計画は、2020 年度実績(50.6%)を少し上回る 52.6%の企業が採用を計画している。
・規模別に採用予定のある企業をみてみると、中堅企業が 87.7%であるのに対し、小規模企業は 17.3%となっており、規模による差は大きい。
・業種別の採用予定は、製造業が 59.0%、非製造業が 50.2%となっており、製造業において採用予定のある企業の構成比が高い。



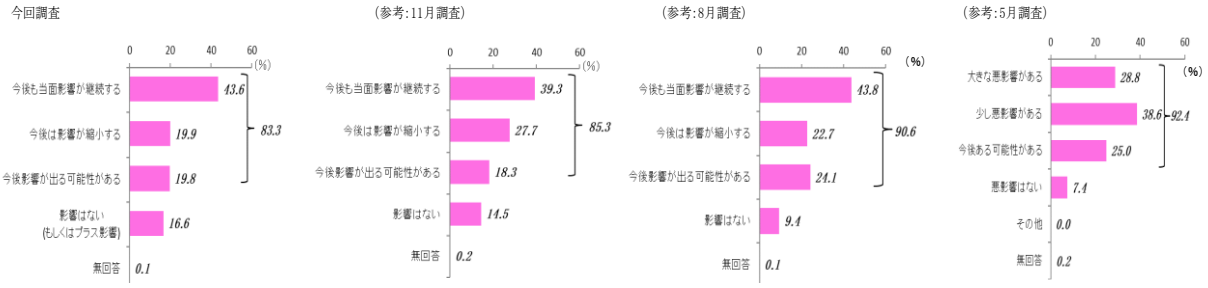
(%)

		回答企業数(社)	①今年度より採用数を増やす	②採用数は今年度並み	③採用数を減らす	①+②+③採用予定あり	採用予定はない	その他	無回答	合計
全産業		1,310	8.5	38.9	5.2	52.6	45.7	0.8	0.8	100.0
規模別	小規模企業	290	5.2	11.4	0.7	17.3	81.4	1.0	0.3	100.0
	中小企業	805	9.8	41.2	5.2	56.2	41.7	1.0	1.0	100.0
	中堅企業	211	8.1	68.2	11.4	87.7	11.4	0.0	0.9	100.0
業種別	製造業	356	7.0	46.9	5.1	59.0	38.8	0.8	1.4	100.0
	非製造業	953	9.1	35.9	5.2	50.2	48.3	0.8	0.6	100.0

◆ 新型コロナウイルスの影響について

(1)経営への影響

・新型コロナウイルスの経営への影響について、今後の可能性も含めて影響があるとする企業は83.3%（前回 85.3%、前々回 90.6%、前々々回 92.4%）となり、過去 3 回の調査と比べて少しずつ減少しているものの、依然として 8 割を超えている。
・規模別に影響のある企業をみてみると、小規模企業は 76.5%、(同 75.1%、85.4%、85.5%)、中小企業は 85.8%、(同 87.9%、92.4%、94.3%)、中堅企業が 82.4%、(同 88.1%、90.2%、94.9%）となっており、過去 3 回の調査と同様に小規模企業より中小、中堅企業の方が高いという結果となった。
・業種別に影響のある企業をみると、宿泊・飲食業が 96.2%(同 95.6%、100.0%、100.0%)、サービス業が 94.6%(同 89.6%、90.2%、92.1%）となった。

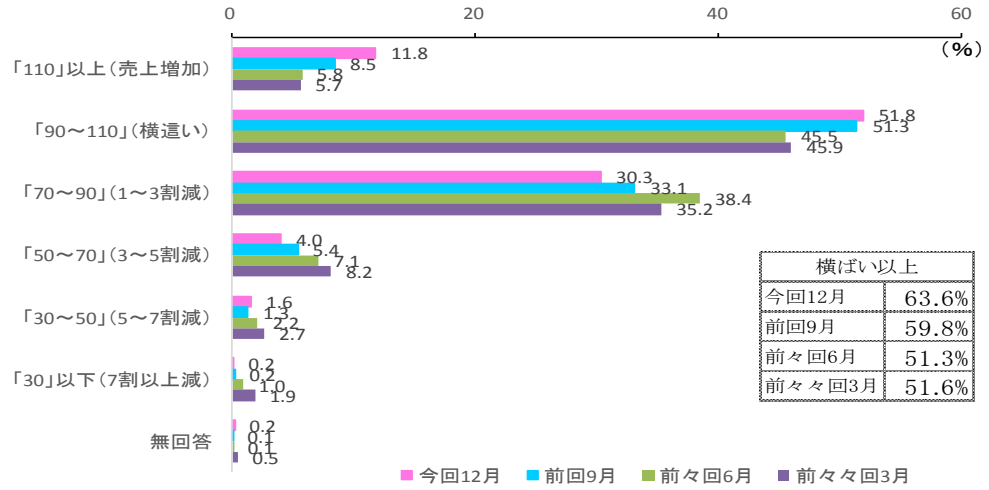


(%)

			回答企業数(社)	①今後も当面影響が継続する	②今後は影響が縮小する	③今後影響が出る可能性がある	①+②+③影響がある	影響はない(もしくはプラス影響)	無回答	合計
全産業			1,310	43.6	19.9	19.8	83.3	16.6	0.1	100.0
規模別	小規模企業		290	34.1	25.2	17.2	76.5	23.4	0.0	100.0
	中小企業		805	46.1	18.5	21.2	85.8	14.0	0.1	100.0
	中堅企業		211	46.4	18.5	17.5	82.4	17.5	0.0	100.0
業種別	製造業		356	52.5	17.1	15.4	85.0	14.9	0.0	100.0
	非製造業	建設業	208	21.6	24.5	33.7	79.8	20.2	0.0	100.0
		卸売業	190	50.5	15.8	17.4	83.7	16.3	0.0	100.0
		小売業	83	62.7	15.7	8.4	86.8	13.3	0.0	100.0
		不動産業	163	23.9	25.2	21.5	70.6	29.4	0.0	100.0
		運輸業	66	45.5	24.2	19.7	89.4	9.1	1.5	100.0
		宿泊・飲食業	26	88.5	7.7	0.0	96.2	3.8	0.0	100.0
		医療・福祉	49	38.8	28.6	20.4	87.8	12.2	0.0	100.0
		サービス	111	56.8	18.9	18.9	94.6	5.4	0.0	100.0
		その他	57	29.8	21.1	26.3	77.2	22.8	0.0	100.0

(2)昨年 12 月の売上水準は （前年同月を 100 とすると）

・昨年 12 月の売上水準は、前年同月を「100」とすると「110」以上（売上増加）が 11.8%、「90～100」（横這い）が 51.8%、「70～90」（1～3 割減）が 30.3%、「50～70」（3～5 割減）が 4.0%、「30～50」（5～7 割減）が 1.6%、「30」以下（7 割以上減）が 0.2%となり、過去 3 回の調査（9 月、6 月、3 月の売上水準）とほぼ同様の結果となった。全産業において横ばい以上の企業が今回 63.6%、前回 59.8%、前々回 51.3%、前々々回 51.6%と少しずつ増加している。
・売上水準を規模別にみると、横ばい以上の企業は中堅企業が 67.3%、小規模企業が 66.2%と中小企業の 62.1%より高く、また、1 割以上売上減の企業は、中小企業が 37.7%と中堅企業の 32.2%、小規模企業の 33.4%より高くなっており、小規模企業、中堅企業の方が中小企業より、1 割以上売上減の企業は少なく、横ばい以上の企業が多いという結果になった。
・1 割以上売上減と回答した先を業種別にみてみると、宿泊・飲食業が 73.0%、(前回 69.6%、前々回 80.0%、前々々回 95.5%)、小売業が 48.2%(同 49.3%、61.0%、75.3%）と高くなっているが、宿泊・飲食業は今回悪化し、小売業は過去の調査に比べ改善してきている。



(%)

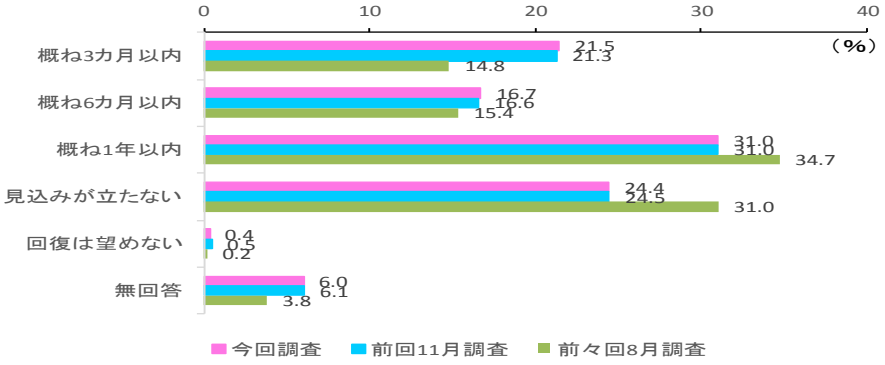
			回答企業数（社）	①「110」以上（売上増加）	②「90～110」（横這い）	①+② 横這い以上	③「70～90」（1～3割減）	④「50～70」（3～5割減）	⑤「30～50」（5～7割減）	⑥「30」以下（7割以上減）	③+④+⑤+⑥ 1割以上減	無回答	合計
全 産 業			1,310	11.8	51.8	63.6	30.3	4.0	1.6	0.2	36.1	0.2	100.0
規模別	小規模企業		290	7.2	59.0	66.2	29.3	2.4	1.4	0.3	33.4	0.3	100.0
	中小企業		805	13.2	48.9	62.1	31.4	4.5	1.7	0.1	37.7	0.1	100.0
	中堅企業		211	13.3	54.0	67.3	26.1	4.7	1.4	0.0	32.2	0.5	100.0
業種別	製造業		356	14.6	45.2	59.8	35.7	3.1	1.1	0.0	39.9	0.3	100.0
	非製造業	建設業	208	17.8	54.8	72.6	22.6	3.8	0.5	0.0	26.9	0.5	100.0
		卸売業	190	13.2	50.5	63.7	30.5	3.2	2.6	0.0	36.3	0.0	100.0
		小売業	83	16.9	34.9	51.8	41.0	3.6	3.6	0.0	48.2	0.0	100.0
		不動産業	163	4.3	71.2	75.5	23.3	0.0	0.0	0.6	23.9	0.6	100.0
		運輸業	66	6.1	56.1	62.2	27.3	7.6	3.0	0.0	37.9	0.0	100.0
		宿泊・飲食業	26	3.8	23.1	26.9	26.9	26.9	15.4	3.8	73.0	0.0	100.0
		医療・福祉	49	8.2	71.4	79.6	18.4	2.0	0.0	0.0	20.4	0.0	100.0
		サービス	111	6.3	44.1	50.4	39.6	8.1	1.8	0.0	49.5	0.0	100.0
		その他	57	7.0	61.4	68.4	26.3	5.3	0.0	0.0	31.6	0.0	100.0

(3)発生前の水準に業績が回復するまでの期間

・新型コロナウイルス発生前の水準に業績が回復するまでの期間は、「概ね 3 カ月以内」が 21.5%(前回 21.3%、前々回 14.8%)、「概ね 6 カ月以内」が 16.7%(同 16.6%、15.4%)、「概ね 1 年以内」が 31.0%(同 31.0%、34.7%)と「概ね 1 年以内(合計)」が 69.2%(同 68.9%、64.9%)、「見込みが立たない」が 24.4%(同 24.5%、31.0%)、「回復は望めない」は 0.4%(同 0.5%、0.2%)と過去 2 回の調査と同様の結果となった。

・規模別にみると、小規模企業、中小企業では「概ね 1 年以内(合計)」がそれぞれ 70.4%(同 69.5%、66.94%)、69.9%(同 69.3%、64.9%)と中堅企業より高く、中堅企業では「見込みが立たない」が 25.1%(同 28.2%、33.3%)が小規模企業、中小企業より高くなった。

・業種別にみると「概ね 1 年以内(合計)」の回答が、『その他』で 78.9%、『不動産業』で 72.4%、『建設業』で 72.1%、『運輸業』で 71.2%、『小売業』で 71.1%となり、幅広い業種でほぼ 1 年以内の回復を見込む結果となった。



(%)

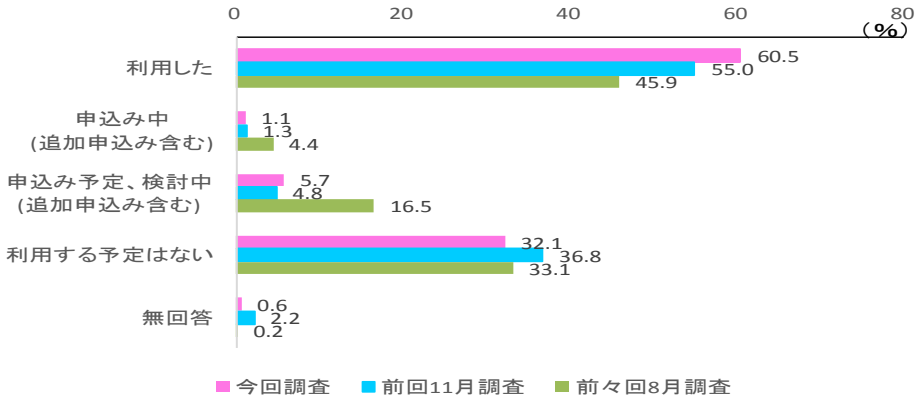
			回答企業数(社)	①概ね3カ月以内	②概ね6カ月以内	③概ね1年以内	①+②+③概ね1年以内(合計)	見込みが立たない	回復は望めない	無回答	合計
全産業			1,310	21.5	16.7	31.0	69.2	24.4	0.4	6.0	100.0
規模別	小規模企業		290	25.2	16.9	28.3	70.4	24.5	0.3	4.8	100.0
規模別	中小企業		805	20.9	16.5	32.5	69.9	24.1	0.1	5.8	100.0
規模別	中堅企業		211	18.5	17.5	28.9	64.9	25.1	1.4	8.5	100.0
業種別	製造業		356	21.1	14.0	32.3	67.4	25.8	0.0	6.7	100.0
業種別	非製造業	建設業	208	25.5	19.2	27.4	72.1	17.8	0.0	10.1	100.0
業種別	非製造業	卸売業	190	17.9	15.8	32.6	66.3	27.9	0.0	5.8	100.0
業種別	非製造業	小売業	83	15.7	22.9	32.5	71.1	24.1	2.4	2.4	100.0
業種別	非製造業	不動産業	163	30.7	19.6	22.1	72.4	21.5	0.6	5.5	100.0
業種別	非製造業	運輸業	66	18.2	19.7	33.3	71.2	24.2	0.0	4.5	100.0
業種別	非製造業	宿泊・飲食業	26	7.7	19.2	23.1	50.0	50.0	0.0	0.0	100.0
業種別	非製造業	医療・福祉	49	14.3	8.2	38.8	61.3	30.6	0.0	8.2	100.0
業種別	非製造業	サービス	111	15.3	13.5	40.5	69.3	26.1	1.8	2.7	100.0
業種別	非製造業	その他	57	31.6	17.5	29.8	78.9	17.5	0.0	3.5	100.0

(4)新型コロナウイルス感染症にかかる特別融資や制度融資の利用状況

・新型コロナウイルス感染症にかかる特別融資や制度融資の利用状況は、「利用した」が 60.5%(前回 55.0%、前々回 45.9%)、「申込み中」が 1.1%(同 1.3%、4.4%)、「申込み予定、検討中」が 5.7%(同 4.8%、16.5%)、「利用する予定はない」が 32.1%(同 36.8%、33.1%)という結果となった。「申込み中」「予定がない」が減少し、「利用した」「申込み予定」が増加し、必要とする企業の利用および追加申込みが進んだとみられる。

・規模別にみてみると小規模企業、中小企業では「利用した」が 55.9%(同 56.8%、48.9%)、65.1%(同 59.6%、47.4%)と高く、多くの企業が利用している。中堅企業では「利用した」が 48.3%(同 35.5%、36.3%)で、「利用する予定はない」が 45.0%(同 52.3%、45.6%)となった。前回までの調査と異なり、中堅企業で利用する予定はない企業が減り、利用した企業が増えたという結果となった。

・業種別にみてみると『医療・福祉』、『その他』」は「利用する予定がない」が高く、それ以外の業種では「利用した」が高い結果となった。特に「宿泊・飲食業」と「小売業」は 80.8%(同 69.6%、66.7%)、66.3%(同 62.7%、59.7%)と、利用した企業が多かった。

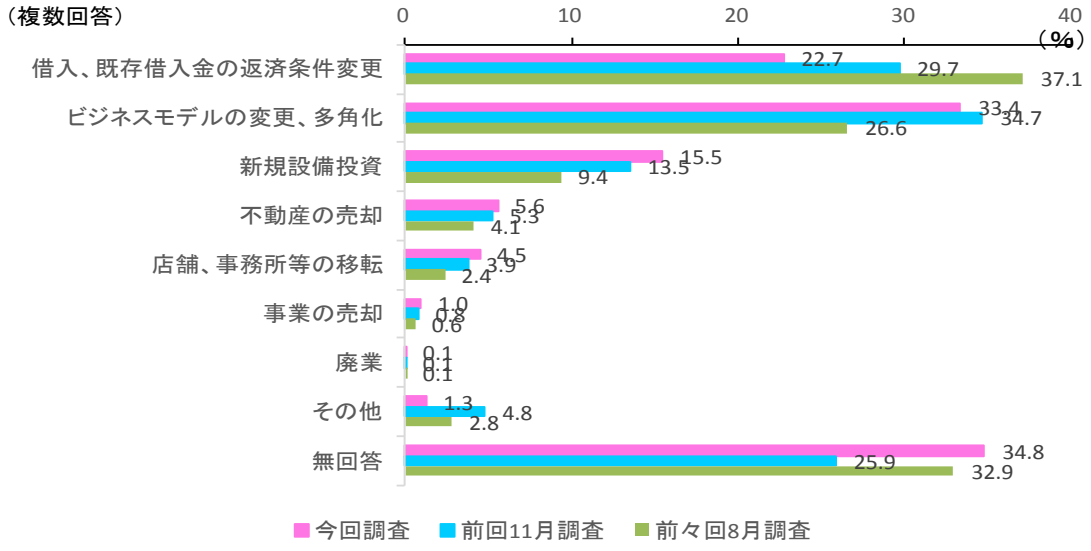


(%)

			回答企業数(社)	利用した	申込み中(追加申込み含む)	申込み予定、検討中(追加申込み含む)	利用する予定はない	無回答	合計
全産業			1,310	60.5	1.1	5.7	32.1	0.6	100.0
規模別	小規模企業		290	55.9	1.7	4.8	36.6	1.0	100.0
	中小企業		805	65.1	1.0	6.0	27.3	0.6	100.0
	中堅企業		211	48.3	0.5	6.2	45.0	0.0	100.0
業種別	製造業		356	63.8	0.6	5.3	30.3	0.0	100.0
	非製造業	建設業	208	64.4	2.4	6.7	26.0	0.5	100.0
		卸売業	190	61.6	0.0	5.3	32.1	1.1	100.0
		小売業	83	66.3	2.4	7.2	22.9	1.2	100.0
		不動産業	163	51.5	0.6	3.1	42.9	1.8	100.0
		運輸業	66	59.1	0.0	9.1	31.8	0.0	100.0
		宿泊・飲食業	26	80.8	0.0	3.8	15.4	0.0	100.0
		医療・福祉	49	36.7	0.0	12.2	51.0	0.0	100.0
		サービス	111	65.8	3.6	4.5	25.2	0.9	100.0
		その他	57	42.1	0.0	5.3	52.6	0.0	100.0

(5)既に実施または、今後実施を検討している対策

・既に実施または今後実施を検討している対策は、「資金繰りのための借入、既存借入金の返済条件変更」が 22.7%(前回 29.7%、前々回 37.1%)、「ビジネスモデルの変更、多角化」が 33.4%(同 34.7%、26.6%)、「新規設備投資」が 15.5%(同 13.5%、9.4%)、「不動産の売却」が 5.6%(同 5.3%、4.1%)、「店舗、事務所等の移転」が 4.5%(同 3.9%、2.4%)、「事業の売却」が 1.0%(同 0.8%、0.6%)、「廃業」が 0.1%(同 0.1%、0.1%)という結果になった。コロナ後を見据えて「新規設備投資」「不動産の売却」「店舗、事務所等の移転」が、過去２回の調査に比べ増加してきている。
・規模別でみてみると、「資金繰りのための借入、既存借入金の返済条件変更」は小規模企業で高く、「ビジネスモデルの変更、多角化」「新規設備投資」は企業規模が大きいほど高くなった。
・業種別にみてみると、非製造業に比べて製造業の方が、「資金繰りのための借入、既存借入金の返済条件変更」「ビジネスモデルの変更、多角化」「新規設備投資」の項目で高くなった。

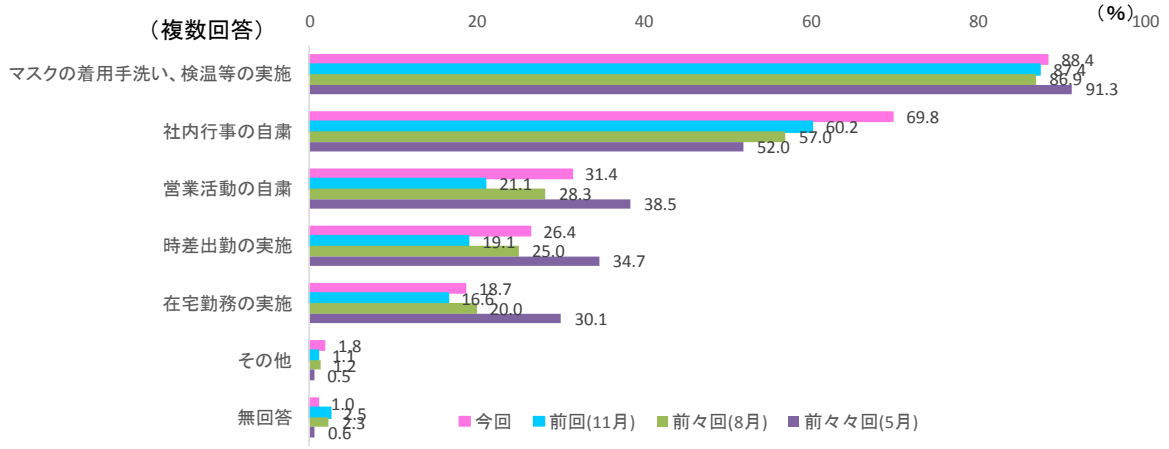


（複数回答）　　（%）

		回答企業数（社）	資金繰りのための借入、既存借入金の返済条件変更	ビジネスモデルの変更、多角化	新規設備投資	不動産の売却	店舗、事務所等の移転	事業の売却	廃業	その他	無回答
全 産 業		1,310	22.7	33.4	15.5	5.6	4.5	1.0	0.1	1.3	34.8
規模別	小規模企業	290	27.2	22.4	11.0	11.0	2.8	0.3	0.3	0.3	40.0
	中小企業	805	21.1	35.5	15.7	3.7	5.0	1.5	0.0	1.6	34.7
	中堅企業	211	22.3	40.8	20.9	5.2	5.2	0.0	0.0	1.4	28.0
業種別	製造業	356	24.2	39.3	21.9	2.5	3.4	0.8	0.0	0.3	29.5
	非製造業	953	22.2	31.2	13.1	6.7	4.9	1.0	0.1	1.7	36.7

(6)現在、対策として実施しているものは

・現在、対策として実施しているものは、「マスクの着用や手洗い、検温等の励行」が 88.4%(前回 87.4%、前々回 86.9%、前々々回 91.3%)、「社内行事の自粛」が 69.8%(同 60.2%、57.0%、52.0%)、「営業活動の自粛」が 31.4%(同 21.1%、28.3%、38.5%)、「時差出勤（シフト勤務等）の実施」が 26.4%(同 19.1%、25.0%、34.7%)、「在宅勤務（テレワーク等）の実施」が 18.7%(同 16.6%、20.0%、30.1%)となった。緊急事態宣言が再度発令されたことにより、「営業活動の自粛」「時差出勤の実施」「在宅勤務の実施」等の対策は強められたという結果になった。
・規模別では、「社内行事の自粛」、「営業活動の自粛」、「時差出勤の実施」、「在宅勤務の実施」の項目において、過去 3 回の調査と同様に企業規模が大きい企業の方が高いという結果となった。
・業種別では、製造業では非製造業より「マスクの着用や手洗い、検温等の実施」「社内行事の自粛」「営業活動の自粛」「時差出勤の実施」「在宅勤務の実施」のすべての項目で比率が高いという結果となった。



（複数回答）　　（%）

		回答企業数（社）	マスクの着用や手洗い、検温等の実施	社内行事の自粛（延期、中止等）	営業活動の自粛	時差出勤（シフト勤務等）の実施	在宅勤務（テレワーク等）の実施	その他	無回答
全　産　業		1,310	88.4	69.8	31.4	26.4	18.7	1.8	1.0
規模別	小規模企業	290	89.0	53.8	26.9	19.0	15.9	2.1	1.7
	中小企業	805	88.7	73.2	32.3	26.1	18.0	1.9	0.7
	中堅企業	211	86.7	79.6	34.1	38.4	25.6	1.4	0.9
業種別	製造業	356	91.9	76.7	41.0	27.2	20.8	1.7	0.3
	非製造業	953	87.1	67.4	27.8	26.1	17.9	1.9	1.3

Ⅳ.【参考】 業況判断の内訳明細

景況判断

DI＝「良い」－「悪い」

項　目	2020年 4～6月				2020年 7～9月				2020年 10～12月				2021年 1～3月				2021年 4～6月 ≪見通し≫			
	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI
全　産　業	2.1	38.4	59.5	▲ 57.4	3.6	43.0	53.4	▲ 49.8	5.6	52.8	41.6	▲ 36.0	6.0	53.0	40.9	▲ 34.9	5.7	55.8	38.5	▲ 32.9
小規模企業	1.7	44.4	53.8	▲ 52.1	2.2	52.3	45.5	▲ 43.4	4.0	59.0	37.0	▲ 33.0	3.1	62.1	34.8	▲ 31.7	4.5	61.7	33.8	▲ 29.3
中小企業	2.1	36.8	61.1	▲ 59.0	3.1	42.2	54.7	▲ 51.7	5.7	51.4	43.0	▲ 37.3	6.5	51.1	42.4	▲ 35.9	5.9	54.5	39.6	▲ 33.7
中堅企業	3.1	35.7	61.2	▲ 58.2	7.8	32.8	59.3	▲ 51.5	7.3	50.9	41.8	▲ 34.5	8.5	47.9	43.6	▲ 35.1	6.6	53.1	40.3	▲ 33.6
製　造　業	3.3	33.7	63.0	▲ 59.6	5.1	34.4	60.5	▲ 55.4	5.8	42.1	52.1	▲ 46.3	9.3	43.5	47.2	▲ 37.9	7.3	52.0	40.7	▲ 33.4
小規模企業	8.7	21.7	69.6	▲ 60.9	7.7	30.8	61.5	▲ 53.8	8.7	21.7	69.6	▲ 60.9	5.6	50.0	44.4	▲ 38.9	11.1	38.9	50.0	▲ 38.9
中小企業	2.1	34.6	63.2	▲ 61.1	3.3	36.5	60.1	▲ 56.8	4.6	44.2	51.2	▲ 46.6	8.1	42.9	49.0	▲ 40.9	6.6	52.5	40.9	▲ 34.4
中堅企業	5.9	35.3	58.8	▲ 52.9	10.7	28.0	61.3	▲ 50.7	9.2	40.8	50.0	▲ 40.8	14.1	43.6	42.3	▲ 28.2	9.0	53.8	37.2	▲ 28.2
非　製　造　業	1.7	40.0	58.3	▲ 56.5	3.0	46.4	50.5	▲ 47.5	5.5	57.0	37.5	▲ 31.9	4.8	56.5	38.6	▲ 33.8	5.0	57.2	37.7	▲ 32.7
小規模企業	1.1	46.4	52.5	▲ 51.3	1.6	54.5	43.9	▲ 42.3	3.6	62.4	34.0	▲ 30.4	3.0	62.7	34.3	▲ 31.4	4.1	63.1	32.8	▲ 28.8
中小企業	2.1	37.8	60.1	▲ 58.1	3.0	45.0	52.0	▲ 49.1	6.2	54.9	38.9	▲ 32.7	5.7	55.1	39.2	▲ 33.5	5.5	55.5	39.0	▲ 33.5
中堅企業	1.6	35.9	62.5	▲ 60.9	6.2	35.7	58.1	▲ 51.9	6.3	56.3	37.5	▲ 31.3	5.3	50.4	44.4	▲ 39.1	5.3	52.6	42.1	▲ 36.8

項　目			2020年 4～6月				2020年 7～9月				2020年 10～12月				2021年 1～3月				2021年 4～6月 ≪見通し≫			
			良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI
地域別		神戸地域	2.0	32.9	65.0	▲ 63.0	1.8	39.0	59.2	▲ 57.4	3.4	44.4	52.2	▲ 48.8	6.3	45.2	48.5	▲ 42.1	7.3	47.6	45.1	▲ 37.7
		阪神地域	1.6	47.0	51.4	▲ 49.8	2.5	49.6	47.9	▲ 45.4	4.7	60.6	34.8	▲ 30.1	3.3	62.5	34.1	▲ 30.8	4.3	63.1	32.6	▲ 28.2
		播磨地域	2.7	40.3	57.0	▲ 54.3	6.1	43.9	50.0	▲ 43.9	8.1	55.6	36.3	▲ 28.2	8.4	55.4	36.2	▲ 27.8	6.1	60.3	33.5	▲ 27.4
		但馬・丹波地域	3.2	22.2	74.6	▲ 71.4	0.0	36.1	63.9	▲ 63.9	5.9	43.1	51.0	▲ 45.1	7.7	46.2	46.2	▲ 38.5	5.8	48.1	46.2	▲ 40.4
		淡路地域	1.0	31.7	67.3	▲ 66.3	2.9	37.9	59.2	▲ 56.3	3.0	53.5	43.6	▲ 40.6	0.0	47.1	52.9	▲ 52.9	0.0	47.7	52.3	▲ 52.3
業種別		製　造　業	3.3	33.7	63.0	▲ 59.6	5.1	34.4	60.5	▲ 55.4	5.8	42.1	52.1	▲ 46.3	9.3	43.5	47.2	▲ 37.9	7.3	52.0	40.7	▲ 33.4
	非製造業	建設業	2.0	55.8	42.1	▲ 40.1	3.5	62.1	34.3	▲ 30.8	4.5	66.1	29.4	▲ 24.9	5.3	68.3	26.4	▲ 21.2	4.8	65.9	29.3	▲ 24.5
		卸売業	3.0	29.0	68.0	▲ 65.0	4.2	32.3	63.5	▲ 59.4	7.5	44.0	48.5	▲ 41.0	9.5	47.1	43.4	▲ 33.9	8.4	50.0	41.6	▲ 33.2
		小売業	2.5	13.6	84.0	▲ 81.5	6.5	22.1	71.4	▲ 64.9	11.9	38.8	49.3	▲ 37.3	7.3	29.3	63.4	▲ 56.1	8.5	34.1	57.3	▲ 48.8
		不動産業	0.0	54.7	45.3	▲ 45.3	0.7	65.6	33.8	▲ 33.1	0.6	76.8	22.6	▲ 21.9	1.2	75.5	23.3	▲ 22.1	3.7	74.8	21.5	▲ 17.8
		運輸業	0.0	33.3	66.7	▲ 66.7	1.4	43.5	55.1	▲ 53.6	8.8	51.5	39.7	▲ 30.9	6.2	50.8	43.1	▲ 36.9	3.0	56.1	40.9	▲ 37.9
		宿泊・飲食業	0.0	0.0	100.0	▲ 100.0	0.0	6.7	93.3	▲ 93.3	13.0	30.4	56.5	▲ 43.5	0.0	7.7	92.3	▲ 92.3	4.0	16.0	80.0	▲ 76.0
		医療・福祉	1.9	38.5	59.6	▲ 57.7	1.9	51.9	46.3	▲ 44.4	3.9	62.7	33.3	▲ 29.4	2.0	61.2	36.7	▲ 34.7	4.1	57.1	38.8	▲ 34.7
		サービス業	2.0	36.6	61.4	▲ 59.4	4.9	34.0	61.2	▲ 56.3	5.6	50.4	44.0	▲ 38.4	0.9	51.4	47.7	▲ 46.8	1.8	51.4	46.8	▲ 45.0
		その他	2.0	49.0	49.0	▲ 47.1	0.0	52.2	47.8	▲ 47.8	2.0	62.7	35.3	▲ 33.3	5.3	64.9	29.8	▲ 24.6	3.5	63.2	33.3	▲ 29.8

【各種判断】

DI＝「増加」－「減少」、「不足」－「過剰」、「楽である」－「苦しい」

項　目	2020年 4～6月				2020年 7～9月								2020年 10～12月				2021年 1～3月 ≪見通し≫			
	増加 不足 楽である	変わらず 適正 普通	減少 過剰 苦しい	DI	増加 不足 楽である	変わらず 適正 普通	減少 過剰 苦しい	DI					増加 不足 楽である	変わらず 適正 普通	減少 過剰 苦しい	DI	増加 不足 楽である	変わらず 適正 普通	減少 過剰 苦しい	DI
売上高判断	4.9	40.0	55.1	▲ 50.2	7.1	41.1	51.8	▲ 44.8					11.0	49.1	39.9	▲ 28.9	10.6	53.9	35.6	▲ 25.0
経常利益判断	4.8	42.8	52.4	▲ 47.6	7.1	44.5	48.3	▲ 41.2					11.4	51.2	37.5	▲ 26.1	10.2	55.7	34.1	▲ 23.9
仕入価格判断	3.1	83.0	13.9	▲ 10.8	4.6	83.5	11.9	▲ 7.3					5.9	85.1	9.0	▲ 3.2	6.3	85.2	8.4	▲ 2.1
生産判断【製造業のみ】	4.5	49.7	45.9	▲ 41.4	8.4	40.1	51.5	▲ 43.1					15.0	52.6	32.4	▲ 17.4	12.9	59.1	27.9	▲ 15.0
在庫判断	2.6	90.3	7.1	▲ 4.6	2.7	91.4	5.9	▲ 3.3					2.2	93.5	4.3	▲ 2.1	2.4	94.0	3.6	▲ 1.2
資金繰り判断	5.7	79.9	14.4	▲ 8.7	6.3	83.3	10.4	▲ 4.1					8.2	84.4	7.4	0.8	7.4	84.7	8.0	▲ 0.6
雇用判断	8.4	86.7	4.9	3.6	8.2	87.9	3.9	4.2					10.0	85.6	4.4	5.7	10.0	85.9	4.1	5.9
設備投資判断	4.2	83.5	12.3	▲ 8.1	4.1	85.9	9.9	▲ 5.8					5.7	85.1	9.2	▲ 3.6	6.9	84.1	9.0	▲ 2.1